

西部第一落合遺跡群（3）

前橋都市計画事業西部第一落合土地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

2 0 2 2

前橋市教育委員会

西部第一落合遺跡群（3）

前橋都市計画事業西部第一落合土地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

2 0 2 2

前橋市教育委員会

はじめに

前橋市は、関東平野の北西部に位置し、名山赤城山を背に利根川や広瀬川が市街地を貫流する、四季折々の風情に溢れる群馬県の県都です。市域は豊かな自然環境に恵まれ、2万年前から人々が生活を始め、市内のいたる所にその息吹を感じられる遺跡や史跡、多くの歴史遺産が存在します。

古代において前橋台地には、広大に分布する穀倉地帯を控え、前橋天神山古墳などの初期古墳をはじめ、王山古墳・天川二子山古墳といった首長墓が連綿と築かれ、上毛野国の中核として栄えました。また、続く律令時代になってからは総社・元総社地区に山王廃寺、国府、國分僧寺、國分尼寺など上野国の中核をなす施設が次々に造られました。

中世になると、戦国武将の長尾氏、上杉氏、武田氏、北条氏が鎧をけずった地として知られ、近世においては、譜代大名の酒井氏、松平氏が居城した関東七名城の一つに数えられ、「関東の華」とも呼ばれた厩橋城が築かれました。

やがて近代になると、生糸の一大生産地となり、横浜港から前橋シルクの名前で遠く海外に輸出され日本の発展の一翼を担いました。

今回、報告書を上梓する西部第一落合遺跡群（3）は古代上野国の中核地域の調査であり、上野国府推定地域にも近接することから、調査成果に多くの注目を集めています。今回の調査では、国府そのものに関連する遺構の確認はかないませんでしたが、古代から中近世にかけての溝・堀跡、井戸跡などが見つかりました。こうした調査成果の積み上げが国府や国府のまちの姿の再現に繋がると考えております。残念ながら、現状のまでの保存が無理なため、記録保存という形になりましたが、今後、地域の歴史・前橋の歴史を解明する上で、貴重な資料を得ることができました。

最後になりましたが、関係機関や各方面の多大なるご配慮・ご尽力により調査事業を円滑に進められることができました。また、直接調査に携わってくださった担当者・作業員のみなさんに厚くお礼申しあげます。

本報告書が斯学の発展に少しでも寄与できれば幸いに存じます。

令和4年3月

前橋市教育委員会
教育長　吉川　真由美

例　　言

1 本報告書は前橋都市計画事業西部第一落合土地区画整理事業に伴う「西部第一落合遺跡群（3）」の埋蔵文化財発掘調査報告書である。

2 発掘調査および整理作業の体制は以下の通りである。

遺跡名	西部第一落合遺跡群（3）（包蔵地名 前橋市 0142 遺跡）
遺跡コード	3 A 268
遺跡所在地	群馬県前橋市元総社町 754、755、756、757、758、766
監理指導	寺内勝彦（前橋市教育委員会）
調査担当	佐野良平（技研コンサル株式会社）
調査員	曾根 裕（技研コンサル株式会社）
発掘調査期間	令和3年 9月7日～令和3年10月28日
整理・報告書作成期間	令和3年11月1日～令和4年 3月25日
発掘調査・整理作業参加者	
	大川明子（技研コンサル株式会社）
	砂益ありか 小田切幹緒 岡 真 岡部四郎 岡本陽一 金井美由紀 川野京子 木暮朱実 北爪二郎
	指田来実 杉田友香 田代京子 田代光男 中嶋知恵子 西山康子 平澤小夜子 福田邦弘 細野竹美
	山口拓郎 吉浦英和
3	本書の編集は曾根が行い、原稿執筆についてはIを寺内、他を曾根が担当した。
4	本書における図面・写真・遺物は、前橋市教育委員会で保管されている。
5	下記の諸氏・諸機関にご指導・ご協力を賜りました。記して謝意を表します。

山下工業株式会社

凡　　例

1 掘図中に使用した北は座標北であり、座標については日本測地系に基づく平面直角座標第IX系を使用した。

2 掘図に国土地理院発行1/25,000『前橋』、前橋市発行1/2,500都市計画図を使用した。

3 遺構名称は、掘立柱建物跡：B、溝・堀：W、井戸：I、土坑：D、ビット：Pである。

4 遺構・遺物実測図の縮尺は原則的に次のとおりである。その他各図スケールを参照されたい。

遺構　掘立柱建物跡、溝・堀、井戸、墓跡、土坑、ビット・・・1/60、1/100　全体図・・・1/400
遺物　土器・・・1/3、1/4、1/6　石製品・・・1/3

5 本文および表中の計測値については（ ）は現存値を、〔 〕は復元値を表す。

6 遺物実測図のトーン表現は以下の通りである。

須歿器（断面）：■ 灰釉陶器・磁器（断面）：■

黒色処理：■ 軸葉範囲：■ 摩耗：■

目　　次

はじめに

例言・凡例

I	調査に至る経緯	1
II	遺跡の位置と環境	1
III	調査方針と経過	5
IV	基本土層	5
V	遺構と遺物	7
VI	まとめ	26

I 調査に至る経緯

本発掘調査は、前橋市長 山本 龍（区画整理課）（以下「前橋市」という。）が実施する前橋都市計画事業西部第一落合土地区画整理事業に伴い実施され、3年目にあたる。本事業地周辺は、上野国府推定域が近接すること、北側では元総社蒼海土地区画整理事業施行に伴い、20年以上に亘り発掘調査が実施され、数多くの貴重な調査成果を得ていることなどから、濃密な遺跡地として認識されている。

前橋市教育委員会（以下「市教委」という。）は、令和3年6月10日付けで前橋市より依頼を受け、同年7月6日に試掘・確認調査を実施した。調査の結果、中世の溝・堀跡などが検出されたため、埋蔵文化財の取扱いについて協議を行い、記録保存を目的とした発掘調査を実施することで合意した。

令和3年7月9日付けで前橋市より、埋蔵文化財発掘調査・整理業務に係る依頼書が市教委に提出された。市教委では既に他の発掘調査を実施中のため、市教委直営による調査実施が困難であると判断し、民間調査組織へ発掘調査業務を委託することで前橋市と合意に至った。業務実施にあたっては市教委の作成する調査仕様書に則り、市教委による監理・指導のもと発掘調査を実施することとなった。令和3年8月24日付けで前橋市と民間調査組織である技研コンサル株式会社との間で業務委託契約が締結されるとともに、両者に市教委を加えた三者で協定を締結し、発掘調査に着手した。

なお、遺跡名称「西部第一落合遺跡群（3）」（遺跡コード：3A268）の「西部第一落合」は土地区画整理事業名を採用し、「（3）」は当該土地区画整理事業において3番目に実施した発掘調査として付したものである。

II 遺跡の位置と環境

1 地理的環境

本遺跡が所在する前橋市元総社町は前橋市街地中心から南西約4kmに位置する。市街地西端にある場所で周辺には現在も畑地が多く見られる場所である。遺跡南東約200mには国道17号線高崎前橋バイパス、北側約200mには県道10号線前橋安中富岡線、西側約1kmには関越自動車道が南北に走っている。遺跡の東西には相馬ヶ原扇状地を源とする牛池川と染谷川が流れ、両河川に挟まれた地域に立地する。落合地区は榛名山南東に広がる相馬ヶ原扇状地から前橋台地といった平野部へと移行する地帯である。

本遺跡は令和元年度に調査された西部第一落合遺跡群（1）の西側、令和3年度に調査された西部第一落合遺跡群（2）・（4）の北西部に位置する。



Fig. 1 調査区位置図

2 歴史的環境

前橋市の南西部に立地する本遺跡周辺地域は、上野国府推定地や上野国分寺・国分尼寺を中心に連綿と遺跡が広がる地域である。関越自動車道建設や元総社蒼海土地区画整理事業などに伴う発掘調査が行われ、多くの遺構・遺物が確認されている。本遺跡周辺地域での時代毎の遺跡の概要は以下の通りである。

(1) 繩文時代 八幡川右岸の微高地上に産業道路東遺跡〔19〕・産業道路西遺跡〔20〕、染谷川左岸自然堤防上に上野国分僧寺・尼寺中間地域〔27〕・元総社小見三遺跡〔13〕・元総社蒼海遺跡群〔24〕〔13〕、牛池川左岸自然堤防上に元総社蒼海遺跡群〔7〕・〔9〕・〔10〕〔13〕などが挙げられ、各遺跡で堅穴住居跡が確認されている。

(2) 弥生時代 当該期の遺跡は上野国分僧寺尼寺中間地域・正觀寺遺跡〔49〕などがあるが、その分布は散在的である。元総社寺田遺跡〔44〕では牛池川自然堤防上で後期の住居群が確認されている。

(3) 古墳時代 利根川右岸の地域は県内でも有数の古墳密集地域であり、代表するものとして總社古墳群が挙げられる。古墳時代後期・終末期に亘り、王山古墳〔7〕・愛宕山古墳〔8〕・宝塔山古墳〔10〕・蛇穴山古墳〔11〕などの首長墓が多数築造された。また、この時期には山王庵寺〔4〕が建立され、總社古墳群を含め、政治的中枢地域となる。この時代の集落は牛池川・染谷川沿いの自然堤防上に展開しているが、前期～中期の集落は散見される程度で、後期からの集落増加が看取できる。

(4) 奈良・平安時代 奈良時代には上野国府が造営され、上野国分寺〔2〕・国分尼寺〔3〕の建立に示されるように、本遺跡周辺は古代の政治・経済・文化の中心地として再編成される。

上野国府は元総社地域の区域に約 900m 四方に推定されている。関連遺跡として元総社小学校校庭遺跡〔46〕では県下最大級の掘立柱建物跡が、元総社蒼海遺跡群〔99〕・〔127〕・〔136〕〔13〕、上野国府等範囲内容確認調査 28・33・34 トレンチでは掘込地業を持つ建物跡が検出されている。元総社蒼海遺跡群〔9〕・〔10〕・〔95〕〔13〕では方形の柱穴掘り方をもつ大型掘立柱建物跡が確認されている。牛池川沿いの元総社明神遺跡〔2〕と元総社寺田遺跡〔3〕では人形が、元総社寺田遺跡では「國府」・「曹司」・「國」・「邑厨」などの国府関連施設名が書かれた墨書き土器が出土している。元総社明神遺跡では南北方向の溝跡、闇泉橋遺跡〔36〕や元総社蒼海遺跡群〔7〕・〔9〕・〔10〕では東西方向の溝跡が確認され、国府城の外郭線の想定が為されている。

本遺跡周辺では高崎市浜川町周辺から N - 64° E 方向へ東山道（国府ルート）が延びると推定されている。前橋市域では平成 28 年度上野国府等範囲内容確認調査 45 a・b トレンチにおいて 2 時期の両側開溝を持つ道路跡を確認している。鳥羽遺跡でも 2 条の道路跡が確認されている。日高遺跡では幅約 45m の推定日高道が国府方向へ延びると推定されている。西部第一落合遺跡群〔1〕〔52〕では推定東山道の駅路と考えられていた低地部から上幅 18 m、深さ 1.8 ~ 2.4 m の大型の溝が確認された。溝底面の出土遺物や覆土中に As-B が確認できることから古代の溝と想定されている。

当該期の一般的な集落は、牛池川と染谷川に挟まれた台地上に立地するが、国府推定域の中心部での分布は少なく、国府域と居住域の区分けが看取できる。近年の調査では元総社蒼海遺跡群（75 街区）No. 2〔13〕で鑄造遺構を伴う工房跡が検出され、小金銅仏・三鉢杵・銅印の鋳型と鑄造に使用した須恵器転用取瓶・壇場が出土している。元総社蒼海遺跡群〔145〕〔13〕ではビットから 11 世紀前半と考えられるかわらけ状の壺と共に小金銅仏（觀音菩薩立像）が出土している。元総社蒼海遺跡群〔141〕〔13〕では推定上野国府城を南北に縱断する道路状遺構の一部が検出されている。

(5) 中世 室町時代になると上野国守護上杉氏から守護代に任命された長尾氏が蒼海域を本拠地としこの地を治めた。元総社蒼海遺跡群では蒼海城の堀跡が多く検出されており、12 ~ 15 世紀の青白磁梅瓶、青磁酒会壺蓋・持腰香炉などの貿易陶磁が多数出土している。天正年間以降は諏訪・秋元氏が蒼海域に入り当地の領主となるが、慶長六年（1601）に秋元長朝が總社城に移ると同時に蒼海城は廃城となった。

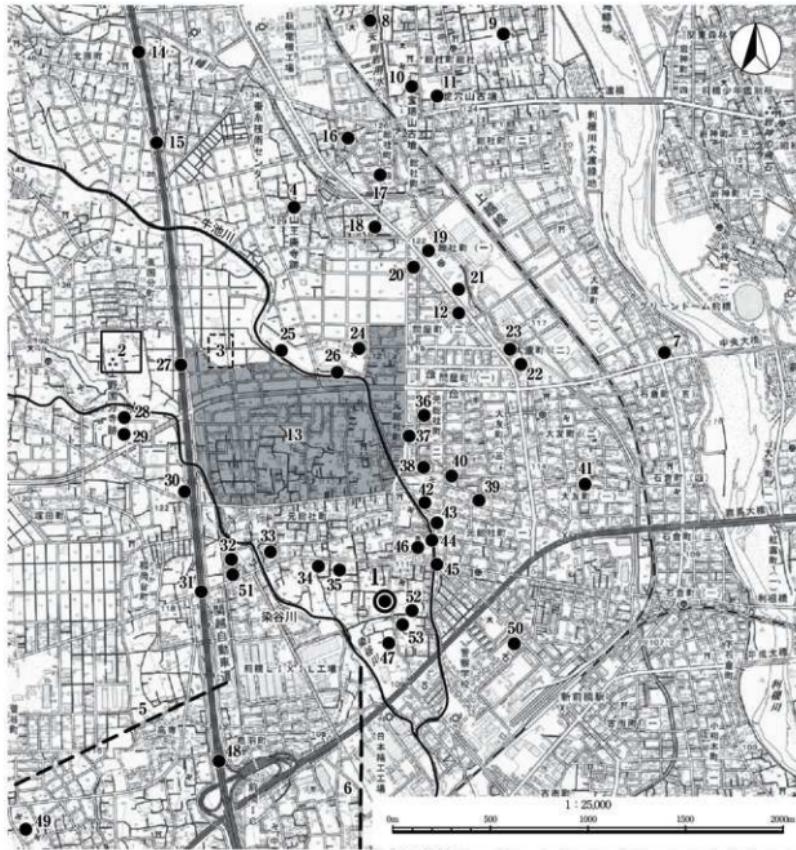


Fig. 2 周辺遺跡図

Tab. 1 周辺遺跡一覧表

番号	遺跡名	番号	遺跡名	番号	遺跡名
1	西部第一薦介遺跡群 (3)	15	国分寺遺跡 - Ⅲ・丘陵跡	35	天神山遺跡
2	上野町分寺跡	16	村東遺跡	36	斯波塚遺跡
3	上野町分院寺跡	17	大原敷跡 I - V	37	西坂塚南遺跡
4	山王地寺跡	18	昌乗寺方向遺跡 - Ⅱ遺跡	38	阿敷遺跡 - II 遺跡
5	兼定堂山道園付ルート	19	崇徳院跡東遺跡	39	御越遺跡
6	兼定院西遺跡	20	兼定院西遺跡	40	御城丘遺跡
7	土山古墳	21	福原塚東北遺跡	41	大友宅地遺跡
8	愛宕山古墳	22	大池山遺跡	42	大友屋敷 - Ⅲ遺跡
9	茂見山古墳	23	大池山遺跡 II 遺跡	43	元和村明治遺跡 I - Ⅳ
10	宝塔山古墳	24	元和村小学校遺跡	44	元和村今井遺跡 I - III
11	蛇穴山古墳	25	元和村志川遺跡	45	令池遺跡
12	梅衝山古墳	26	元和村牛津川遺跡	46	元和村小学校校庭遺跡
13	元和村新所遺跡群	27	上野町分寺寺、尼寺中門地城	47	元和村西遺跡
	元和村小見遺跡 - II - VI 遺跡	28	元和村川田遺跡	48	中尾遺跡
	元和村小見内遺跡 - II - X 遺跡	29	上野町分寺多道遺跡	49	正興寺遺跡 I - V
	元和村草作遺跡 - V 遺跡	30	坂田町遺跡	50	元和村細井遺跡
	元和村福原塚山古遺跡 - II - V 遺跡	31	鳥羽遺跡	51	元和村佐野遺跡
	元和村泉明神北遺跡 - II - V 遺跡	32	鴻勒遺跡 - II 遺跡	52	西部第一薦介遺跡群 (1)
	元和村宅地遺跡	33	元和村佐野乙原跡	53	西部第一薦介遺跡群 (2)
14	北原遺跡	34	天神遺跡 - Ⅲ 遺跡		



Fig. 3 グリッド設定図

Tab. 2 西部第一落合遺跡群周辺遺跡一覧表

遺跡名	調査年度	時代・主な遺跡・諸物
火神遺跡	1986	奈良・平安・住居跡、井戸、土坑、ビット、白磁、青磁、灰釉陶器
火神Ⅱ遺跡	1989	奈良・平安・住居跡、井戸、土坑、ビット、土師器、灰釉器、石器
光起社寺跡	1996	繩文・土坑・堆積・住居跡、古墳、水田、畠、墓地、平安・住居跡、井戸、土坑、溝、河道跡、中世：香海城外郭、井戸 近世：近代・土坑、井戸、島、ビット、松木本製品、墨書き土器（国府、因、耐他）、漆付着土器、網状土器、縄織陶器、灰釉陶器、白磁、鏡（円鏡、風字、輪形）、人形、白衣（馬形、刀形、零柱形）、漆壺、漆器、執扇陶器、青磁、石器、人骨、骸骨
火神Ⅲ遺跡	2008	奈良・平安・住居跡、衛立社建物跡、道路状遺構、中世以降：溝、渠、ビット、焼成窯、綠釉陶器、大型円面窯、燒笠器等
上野国府等範囲内細泥混糞トレンチ23	2013	平安・住居跡、溝、土坑、ビット、ビット、黑色土器台場、灰釉陶器、執扇土器
上野国府等範囲内細泥混糞トレンチ24	2013	中世：溝、土坑、遺跡構造、溝（河川様の一部）、土器、網状土器、執扇土器、灰釉陶器、灰陶器、灰骨
上野国府等範囲内細泥混糞トレンチ25	2013	平安・溝：中世：土坑、ビット、落ち込み・墨書き土器（木・木）、刻畫土器（五芒星）、灰釉陶器、灰骨
上野国府等範囲内細泥混糞トレンチ26	2013	平安・住居跡、溝、中世：道路状遺構、網状文環、灰釉陶器、漆付着土器、窓口
元能村落合遺跡	2014	奈良・平安・住居跡、土坑、繩文土器（裏之内式）、土器器、灰色器
上野国府等範囲内細泥混糞トレンチ46	2016	古墳・住居跡（4世紀化）：奈良・平安：住居跡、溝、土坑、ビット、中世：溝、土坑、ビット群（卫立社建物跡）：古付类型、灰釉陶器、綠釉陶器、吉兆（陰平永宝等）
上野国府等範囲内細泥混糞トレンチ52	2018	中世：溝、ビット、時期不明：道路状遺構、灰釉陶器、黑色土器、青磁、系帯
上野国府等範囲内細泥混糞トレンチ53	2018	近世：桑谷川川底跡等
西部第一落合遺跡群（1）	2020	古墳・溝跡：平安：堅穴建物跡、溝、井戸、土坑、中世：香海城外郭、○瓦（刻書「大田」）灰釉陶器、綠釉陶器、灰盤品、網狀品（刀柄鏡等）、陶器器、石器、石器
西部第一落合遺跡群（2）	2021	古墳・島跡：飛鳥～平安：堅穴建物跡、土坑、中世：井戸、土坑、ビット、○綠釉陶器、灰釉陶器
西部第一落合遺跡群（3）	2021	平安：溝、井戸、土坑、探査掘、中世：溝、渠、堅穴社建物跡、井戸、土坑、ビット、近世以降：古跡、道路状遺構

III 調査方針と経過

委託調査箇所は前橋都市計画事業西部第一落合土地区画整理事業地内であり、調査面積は 1544 m²である。グリッド座標については近隣調査との整合性や以後の拡張性を考慮して元総社古海遺跡群の調査で使用されている任意グリッド座標（国家座標（日本測地系第IX系）X = 44000.000、Y = - 72200.000 を基点とする 4 m ピッチのもの）を使用した。なお経線を X、緯線を Y として北西隅を基点に番付して呼称とした。公共座標は次のとおりである。

測点 日本測地系（第IX系） 世界測地系（第IX系 測地成果 2011）

X 260、Y 385 X = 42,460.000 m、Y = - 71,162.000 m X = 42,814.9261 m、Y = - 71,453.7756 m

発掘調査は遺構確認面まで重機（0.25 m³バックホー）にて表土掘削を行ない、遺構確認、遺構掘り下げ、遺構精査、測量・写真撮影の手順で実施した。遺構調査については土層の堆積状況を確認するため、土層ベルトを適宜設定した。なお、出土遺物に関しては、床面直上や遺構に伴うと判断したものは No 遺物とし、他の覆土中の破片等については一括遺物として取り上げた。遺構の記録には、図面作成はトータルステーション・電子平板を用いての測量・編集を行なった。記録写真は 35mm 判モノクロ・リバーサルフィルムと、デジタルカメラの 3 種類を用いて撮影を行った。調査区全景の空中写真撮影についてはドローンを使用した。

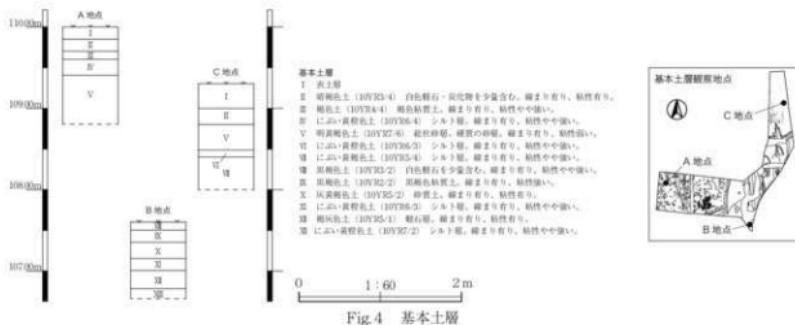
調査経過については以下の通りである。9月7日より調査区北側から表土掘削開始。翌日から作業員の手による遺構確認調査を行った。各遺構の調査は10月14日までに終了、15日にドローンによる空中写真撮影を行った。同日、前橋市教育委員会事務局文化財保護課の立会いのもと発掘作業完了確認が行われた。19日～28日の間で埋め戻し作業を完了し、29日に現地での作業を終了した。

IV 基本土層

基本土層は台地部西端（A 地点：I - 3 の側壁面）と低地部南側（B 地点：W - 6 の側壁面）と低地部北側（C 地点：I - 1 の側壁面）において観察を行った（Fig. 4）。I 層土は現代の表土層、II 層土は暗褐色土層である。IV 層土以下は榛名山系の山体崩壊に起因する陣場岩屑なだれ（約 1.7 万年前）以降に堆積した河川性堆積物（相馬ヶ原扇状地堆積物上部）⁽¹⁾と考えられている総社砂層に分類される。V 層土は非常に硬質な砂層である。台地部や低地部においてこの砂層を切り出した採掘坑が確認されている。遺構確認面は台地部ではⅢ層土、低地部では V 層土となっている。

註

（1）早田 勉 2018 「付編 自然科学分析」「小八木発研寺遺跡」 高崎市教育委員会



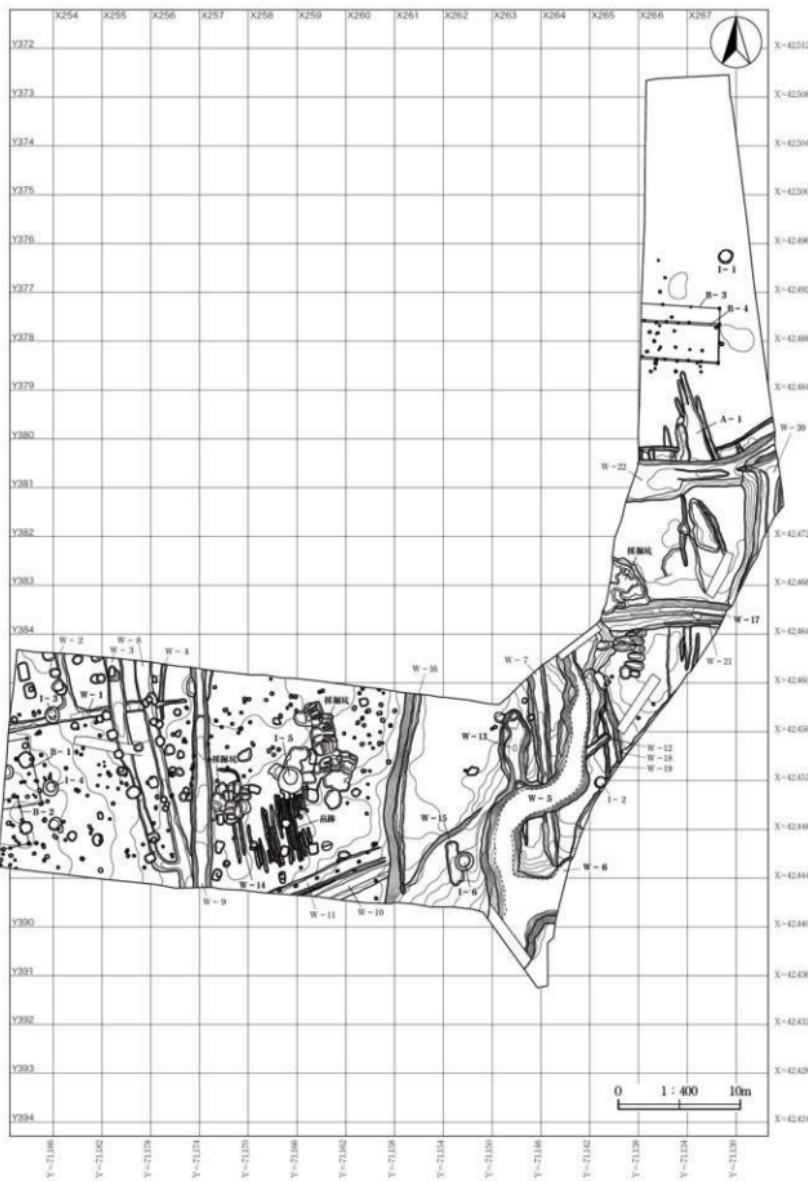


Fig.5 調査区全体図

V 遺構と遺物

本遺跡は西側の台地部と東側の低地部とに分かれる。台地部には古代の土坑・ピット・探掘坑、中世の掘立柱建物跡・溝・井戸、近世以降の溝・畠跡が検出されている。低地部では台地縁辺部を流れる古代の溝、中世の掘立柱建物跡・溝、近世以降の道路状遺構が検出されている。

1 掘立柱建物跡 (Fig. 6・12~14, Tab. 3, PL. 2)

調査区西側で2棟(B-1・2)、北側で2棟(B-3・4)確認された。土層の状況から4棟とも中世に帰属すると考えられる。B-1は桁行3間、梁行2間以上、B-2は桁行2間、梁行2間以上と想定されるが、梁行は調査区外に延びるため不明である。B-3は梁間一間で桁行4間以上、梁行3間、B-4は桁行4間以上、梁行2間を測る。梁行は調査区外に延びるため不明である。B-3・4とも柱穴は浅く、平面方形を呈する。

2 溝 (Fig. 6~12・14~16・19・20, Tab. 3, PL. 1~4)

古代から中世にかけての溝が22条確認された。特徴的な溝について記したい。

W-5は台地縁辺部を蛇行しながら流れる溝である。調査区南端で確認されているW-6も規模や蛇行する路路等の共通点からW-5と同じ性格であると判断される。底面付近では砂層が厚く堆積している事から、常に水の流れがあったと考えられる。W-5中流部では埋め戻されたような土層(粘質土と砂質土の互層)が観察できた。W-5上流部では深さ0.69m、上幅1.68m、下流部では深さ12m以上、上幅33mと下流に行くにつれて規模が大きくなる。新旧関係は土層から判断してW-5が古く、W-6が新しい。遺物は中位から底面にかけて集中して出土しており、9・10世紀代の土器が主体的である。中世以降の遺物の混入は見られない。年代は出土遺物から10世紀頃と想定される。W-7はW-5より新しく、覆土中に多量の細粒砂を含んでいる。W-9は確認長18.1m、断面逆台形、上幅0.99~1.74m、下幅0.99~1.74m、深さ0.49~1.06mを呈する。台地上で確認された他の溝(中世)と比較してしっかりと掘り込みを持つ溝である。土層からは流水の痕跡は確認できない。底面は平坦であるが途中に段を有する。北から南へ向かうに連れて幅が若干広がり、深くなる。出土遺物は古代末の遺物が主体で、中世以降の遺物の混入は見られない。丁寧な構築、出土遺物等から10世紀頃と想定される。W-13はW-5より古い。北側へは延びないため湧水点等を想定したが根拠となるものは確認できなかった。土師器壺(1)が出土していることから9世紀代の溝と考えられる。W-20は側面に段を有しており堀底道であった可能性が考えられる。南端はI-2やW-6と重なり調査区境界を沿うように南側まで伸びている。W-22は西側では底面を堀底道のようにやや浅く平坦な印象を受けるが、東側ではやや狭くなり逆台形の堀となる。W-22北側肩部には堀に沿うように土壠状の高まりと深い溝が確認できる。堀造成の際に硬質な総社砂層を掘り残して造られたと考えられる。

3 掘掘坑 (Fig. 7・8, 10・11, PL. 3)

総社砂層の硬質砂層(V層)部分を切り出した探掘坑。台地部の東半部(W-9より東側)と低地部中央(W-17西側)周辺で確認。台地部では長方形状に掘削された痕跡が多数確認できる。探掘坑の断面をみるとV字状や箱状のものが多いことから、角柱状に切り出されたことが想定される。低地部(W-17北西側)では台地部でのような長方形状の掘削痕は確認できず、乱雑に掘られた印象を受ける。探掘された切り石は周辺集落のカマド構築材等に利用されたと考えられる。

4 井戸、畠跡、土坑、ピット (Fig. 6~12・16~20, Tab. 3, PL. 1・3・4)

台地部北西部で検出された長方形プランを呈するD-48はかわらけ(1~3)・内耳土器(4)・銅鏡の出土状況から墓壙と想定される。同様の形状を持つD-35でも骨片が確認できる。周辺に墓壙が点在していた可能性が高い。D-66~71は連続する溝状の土坑である。探掘坑や波板状土坑を想定したが決め手を欠く。P-52からは天目茶碗(1)が出土している。各遺構の計測値は「Tab. 3 遺構計測表」を参照。



Fig. 6 調査区全体図 (1)

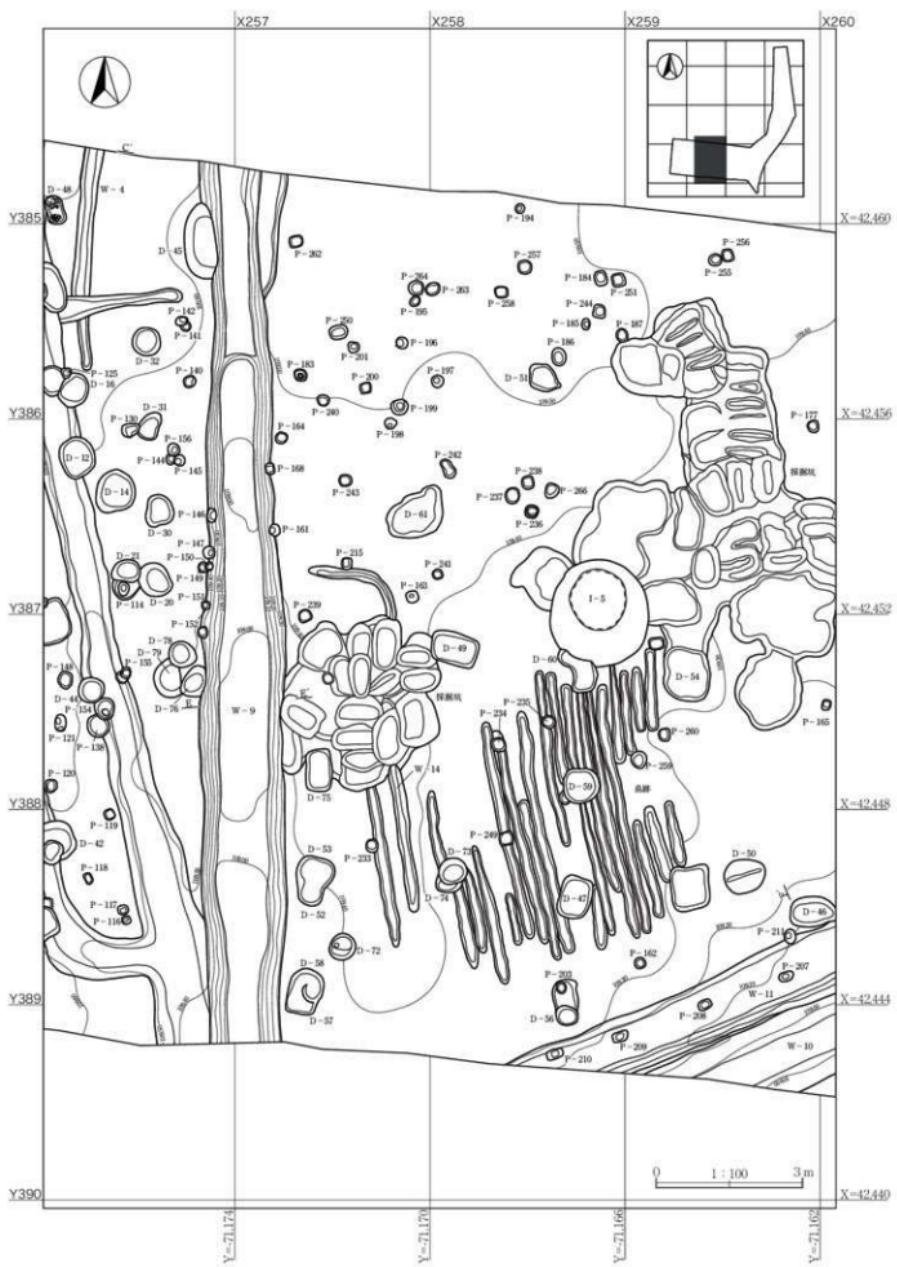


Fig. 7 調査区全体図 (2)

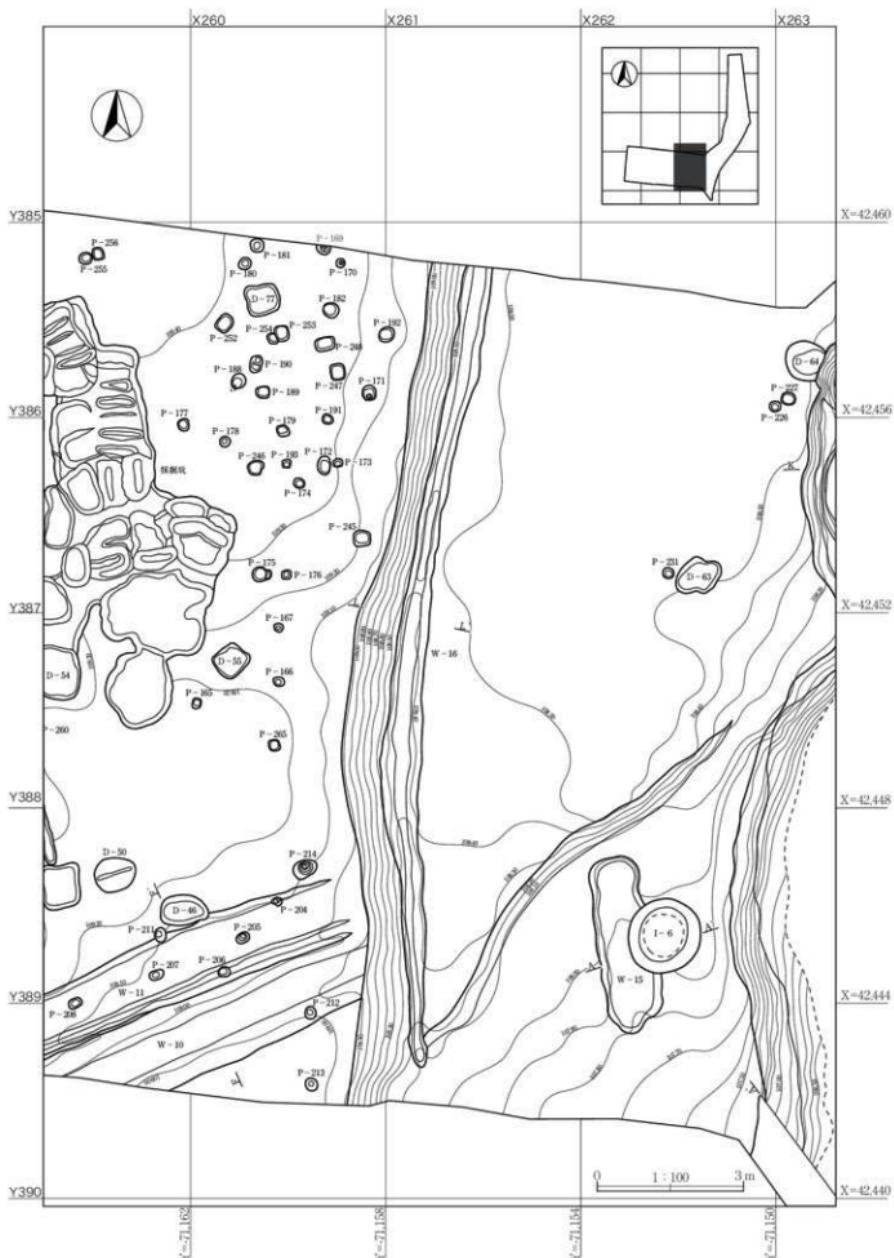


Fig. 8 調査区全体図 (3)

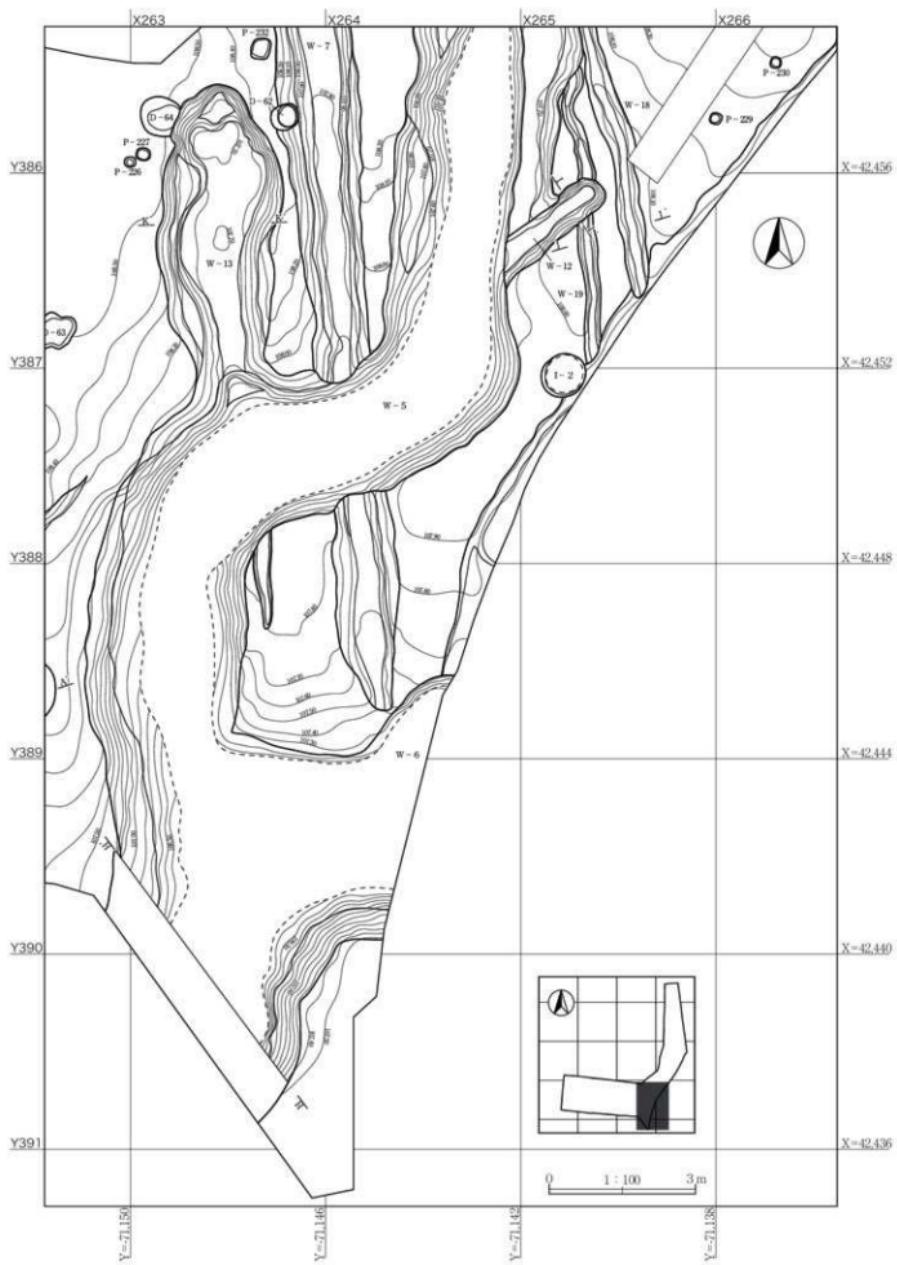


Fig. 9 調査区全体図 (4)



Fig.10 調査区全体図 (5)

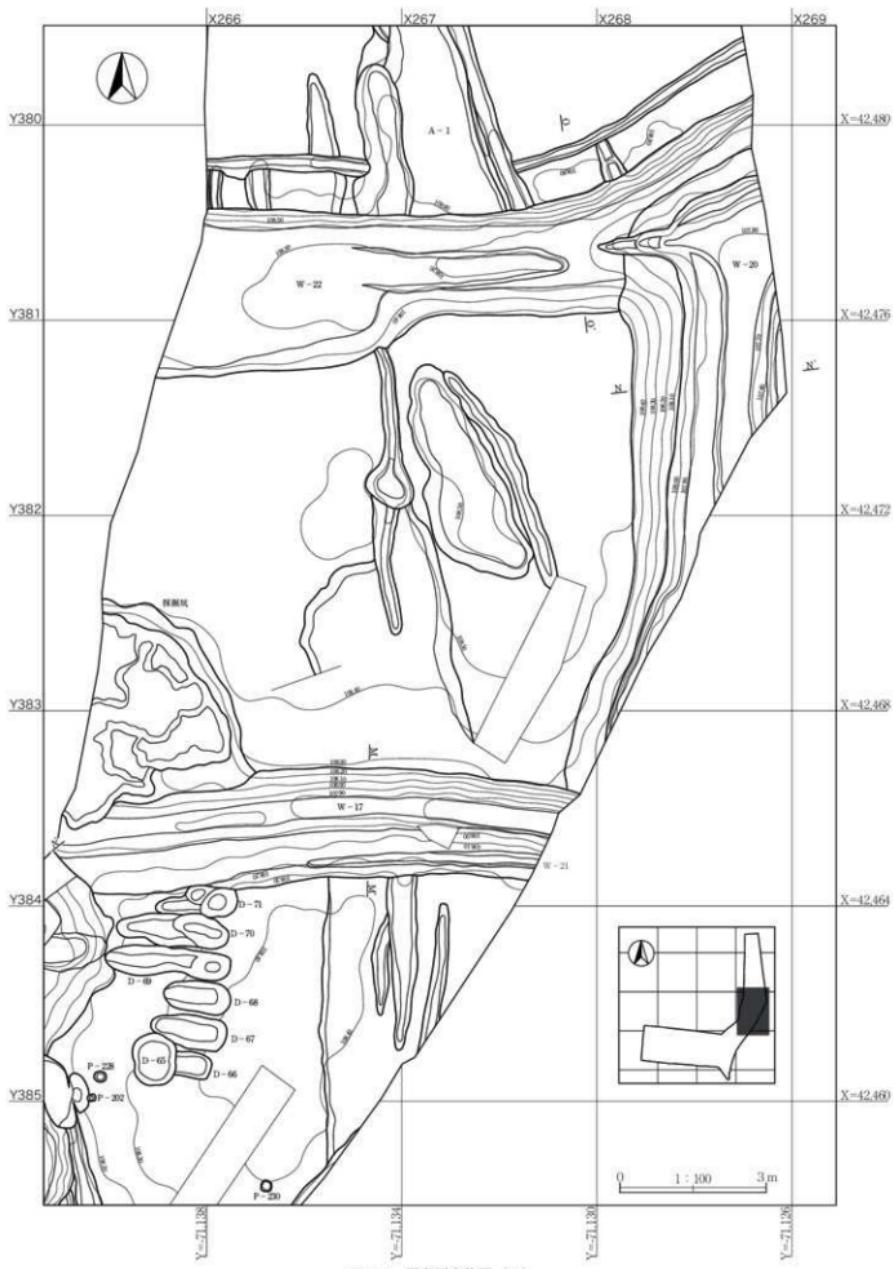


Fig.11 調査区全体図(6)

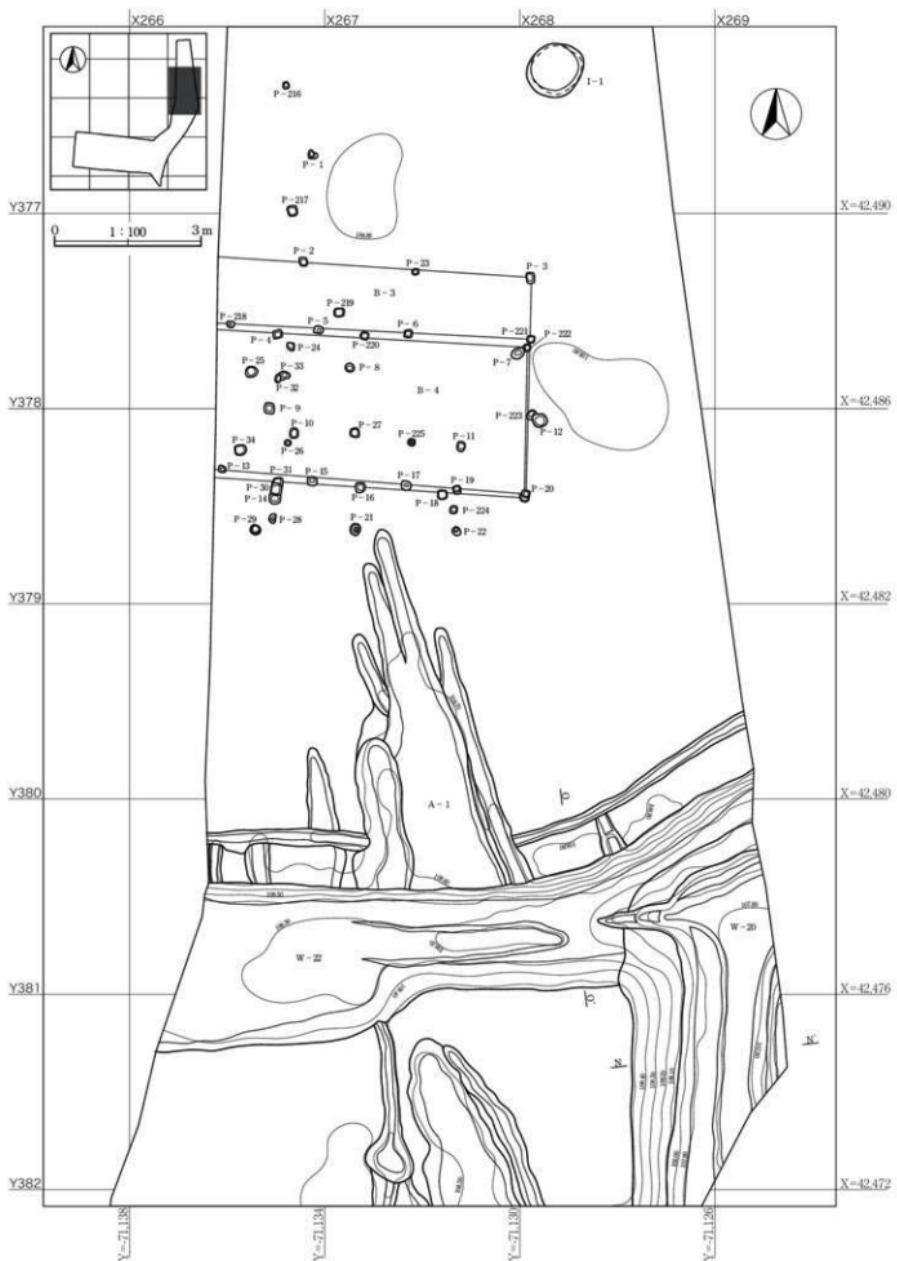


Fig.12 調査区全体図 (7)

B-1・2

L=110.0m P-93 Δ

L=110.0m P-37 P-57 H-30

L=110.0m P-44 P-47 P-57 P-62

L=110.0m P-62 P-67 P-77 P-83

0

1:60

2m

B-1号獨立柱建物跡 SPA～C

- 1 岩性粘土 (10YR 3/2) 硬化物質有り。縫まり有り。粘性有り。
- 2 喀斯特土 (10YR 2/3) 水化物。地主粘土微量含む。縫まり有り。粘性やや有り。
- 3 喀斯特土 (10YR 2/2) 白色粉石を微量含む。縫まり有り。粘性やや有り。
- 4 喀斯特土 (10YR 2/3) 縫まり有し。粘性やや有り。
- 5 喀斯特土 (10YR 2/2) にごく貧弱な粘土のまじり。縫まり有り。粘性有り。
- 6 黑褐色土 (10YR 2/2) 縫まり有り。粘性有り。
- 7 喀斯特土 (10YR 2/3) 白色粉石・水化物を微量含む。縫まり有り。粘性無。
- 8 喀斯特土 (10YR 2/2) 縫まり有り。粘性やや有り。
- 9 喀斯特土 (10YR 2/2) 白色粉石を微量含む。縫まり有り。粘性有り。
- 10 喀斯特土 (10YR 2/3) 水化物・地主粘土微量含む。縫まり無し。粘性無。
- 11 喀斯特土 (10YR 2/4) 縫まり有り。粘性有り。
- 12 喀斯特土 (10YR 2/4) 縫まり有り。粘性やや有り。

B-2号獨立柱建物跡 SPA～F

- 1 喀斯特土 (10YR 2/3) 白色粉石を含む。水化物を微量含む。縫まり有り。粘性弱。
- 2 喀斯特土 (10YR 2/4) 縫まり有り。粘性有り。
- 3 喀斯特土 (10YR 2/4) 縫まり有り。粘性やや有り。
- 4 喀斯特土 (10YR 2/3) 縫まり有り。粘性有り。
- 5 喀斯特土 (10YR 2/2) 縫まり有り。粘性有り。
- 6 喀斯特土 (10YR 2/3) 白色粉石・地主粘土微量含む。縫まり有り。粘性弱。
- 7 喀斯特土 (10YR 2/3) 水化物を微量含む。縫まり有り。粘性有り。
- 8 喀斯特土 (10YR 2/3) 水化物を微量含む。縫まり有り。粘性弱。
- 9 喀斯特土 (10YR 2/3) 縫まり有り。粘性弱。
- 10 喀斯特土 (10YR 2/4) 縫柱跡土のまじり。地主粘土微量含む。縫まり有り。粘性無。
- 11 喀斯特土 (10YR 2/4) 水化物を微量含む。縫まり有り。粘性弱。

B-3

L=108.9m P-2 P-21 P-3 Δ

L=108.9m P-218 P-5 P-6 P-221 P-20

L=108.9m P-13 P-15 P-17 P-19 P-20

L=108.9m P-20 P-221 P-3 P-19

B-3号獨立柱建物跡 SPA～D

- 1 喀斯特土 (10YR 3/3) 地主粘土微量含む。縫まり有り。粘性弱。
- 2 喀斯特土 (10YR 3/3) 喀斯特土のまじり。地主粘土微量含む。縫まり有り。粘性弱。

0 1:60 2m

Fig.13 B-1～3号獨立柱建物跡

B-3・4

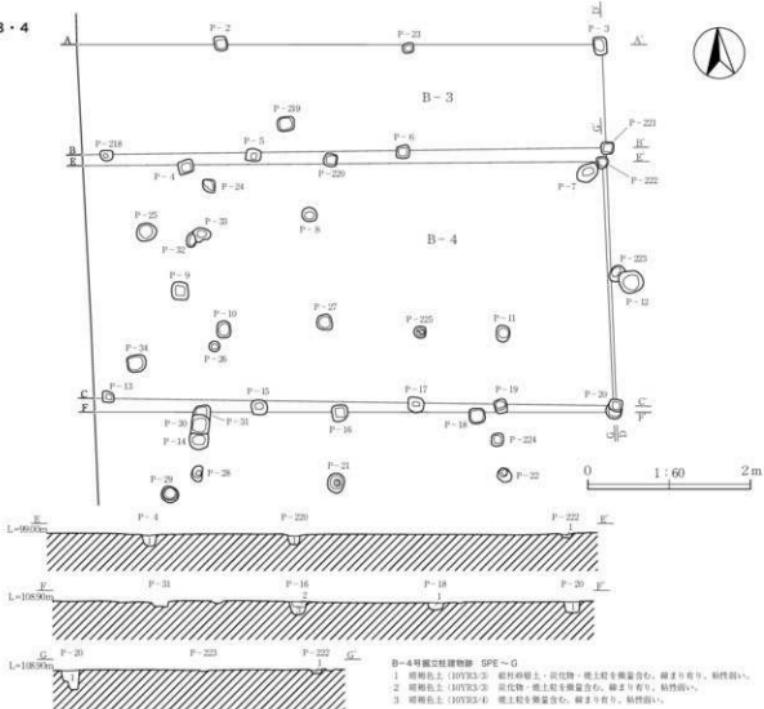
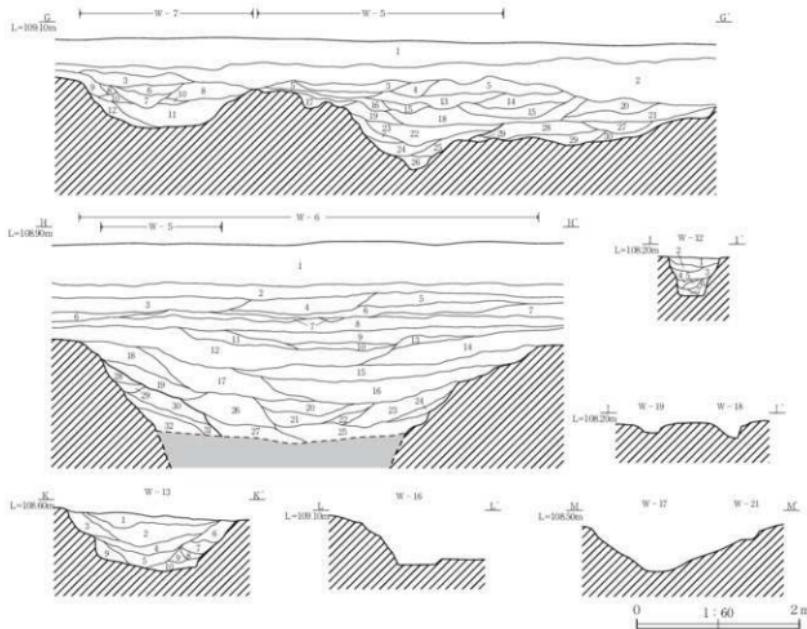


Fig.14 B-3・4号掘立柱建物跡、溝（1）

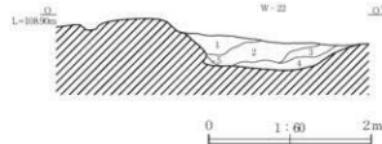
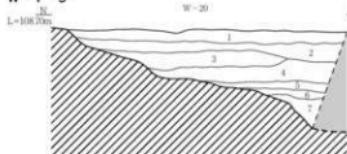


W-5・7等高線 SPG(6~12層) W-7、13~20層 W-5~1

- 1 剛南丸土 (10Y33-3) 表土層
2 白色輕砂土質、炭化物粒を微量含む。緻密より有り。粘性有り。
3 粘土質砂土質、炭化物粒を微量含む。緻密より有り。粘性有り。
4 粘土質砂土質、炭化物粒を微量含む。緻密より有り。粘性有り。
5 剛南丸土 (10Y33-3) 褐色細砂土質を含む。緻密より有り。粘性有り。
6 黒褐色土 (10Y33-2) 褐色細砂土質を含む。緻密より有り。粘性有り。
7 深褐色土 (10Y34-1) 褐色細砂土質上部。緻密より有り。粘性有り。
8 黑褐色土 (10Y34-1) 褐色細砂土質上部。黑色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性有り。
9 にかべ色細砂土 (10Y36-4) 褐色細砂土質ブロック状。緻密より有り。粘性有り。
10 黑褐色土 (10Y32-2) 褐色細砂土質ブロック状。緻密より有り。粘性有り。
11 黑褐色土 (10Y32-2) 褐色細砂土質ブロック状。緻密より有り。粘性有り。
12 黑褐色土 (10Y32-1) 黑褐色細砂土質上部。黑色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性有り。
13 黑褐色土 (10Y32-1) 黑褐色細砂土質上部。黑色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性有り。
14 黑褐色土 (10Y32-1) 黑褐色細砂土質上部。黑色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性有り。
15 黑褐色土 (10Y32-1) 褐色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性やや細い。
16 黑褐色土 (10Y32-1) 褐色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性やや細い。
17 黑褐色土 (10Y32-1) 褐色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性やや細い。
18 黑褐色土 (10Y32-1) 褐色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性やや細い。
19 黑褐色土 (10Y32-1) 褐色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性やや細い。
20 黑褐色土 (10Y32-1) 褐色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性やや細い。
21 黑褐色土 (10Y32-1) 褐色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性有り。
22 黑褐色土 (10Y32-1) 褐色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性有り。
23 黑褐色土 (10Y32-1) 褐色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性有り。
24 黑褐色土 (10Y32-1) 褐色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性有り。
25 黑褐色土 (10Y32-1) 褐色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性有り。
26 黑褐色土 (10Y32-1) 褐色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性有り。
27 黑褐色土 (10Y32-1) 褐色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性有り。
28 黑褐色土 (10Y32-1) 褐色細砂土質ブロックを微量含む。緻密より有り。粘性やや細い。
29 黑褐色土 (10Y32-1) 褐色細砂土質ブロックを微量含む。緻密より有り。粘性やや細い。
30 黑褐色土 (10Y32-1) 褐色細砂土質ブロックを微量含む。緻密より有り。粘性やや細い。
31 黑褐色土 (10Y32-1) 褐色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性やや細い。
32 黑褐色土 (10Y32-1) 褐色細砂土質ブロックを微量含む。緻密より有り。粘性やや細い。
W-12等高線 SP1
1 剛南丸土 (10Y32-3) 褐色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性細い。
2 剛南丸土 (10Y32-3) 褐色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性やや細い。
3 剛南丸土 (10Y32-3) 白色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性やや細い。
4 剛南丸土 (10Y32-3) 黑褐色細砂土質上部にかべ色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性やや細い。
5 剛南丸土 (10Y32-3) にかべ色細砂土質上部。白色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性細い。
6 剛南丸土 (10Y32-3) 黑褐色細砂土質上部にかべ色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性細い。
7 剛南丸土 (10Y32-3) 黑褐色土質上部にかべ色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性やや細い。
W-13等高線 SPW
1 剛南丸土 (10Y32-3) 褐色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性有り。
2 剛南丸土 (10Y32-3) 白色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性やや細い。
3 剛南丸土 (10Y32-3) 白色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性やや細い。
4 剛南丸土 (10Y32-3) 白色細砂土質上部にかべ色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性やや細い。
5 剛南丸土 (10Y32-3) 白色細砂土質上部にかべ色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性やや細い。
6 剛南丸土 (10Y32-3) 黑褐色細砂土質上部にかべ色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性やや細い。
7 剛南丸土 (10Y32-3) 黑褐色細砂土質上部にかべ色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性やや細い。
8 剛南丸土 (10Y32-3) 黑褐色細砂土質上部にかべ色細砂土質を微量含む。緻密より有り。粘性やや細い。
9 にかべ色細砂土 (10Y32-3) 褐色細砂土質ブロックを微量含む。緻密より有り。粘性やや細い。
10 黑褐色土 (10Y32-2) 褐色細砂土質。緻密よりやや粗い。粘性やや細い。

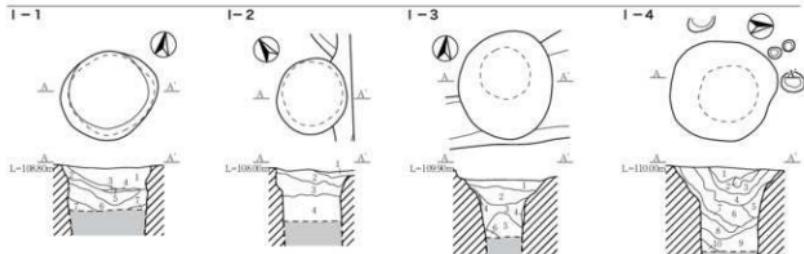
Fig.15 溝 (2)

W-1~9



- W-20号溝 SPAN
- 1 剥離土上 (10Y32-1) 白色粗石を微量含む。縦まり有り。粘性やや弱い。
 - 2 剥離土上 (10Y32-2) 白色粗石を微量含む。縦まり有り。粘性やや弱い。
 - 3 剥離土上 (10Y32-3) にひび裂隙を有する。白色粗石を微量含む。縦まり有り。粘性やや弱い。
 - 4 剥離土上 (10Y32-3) HGPを含む。縦まりやや有り。粘性やや弱い。
 - 5 剥離土上 (10Y32-4) 粘性粗砂の混じり。縦まりやや有り。粘性やや弱い。
 - 6 剥離土上 (10Y32-4) 粘土質。縦まり弱い。粘性有り。
 - 7 剥離土上 (10Y32-2) 剥離土質實。縦まり有り。粘性有り。

- W-22号溝 SPO
- 1 剥離土上 (10Y32-1) 白色粗石を微量含む。縦まり有り。粘性やや弱い。
 - 2 剥離土上 (10Y32-2) 白色粗石を微量含む。縦まり有り。粘性やや弱い。
 - 3 剥離土上 (10Y32-3) にひび裂隙を有する。縦まり有り。粘性やや弱い。
 - 4 剥離土上 (10Y32-3) にひび裂隙を有する。縦まり有り。粘性やや弱い。
 - 5 剥離土上 (10Y32-4) 粘性粗砂の混じり。縦まりやや有り。粘性弱い。



- I-1号井戸 SPA
- 1 明治剥離土上 (10Y37-6) 剥離土質ブロックを多量。白色粗石を含む。縦まり弱い。粘性無し。
 - 2 にひび裂隙有り (10Y36-3) 粘性なし。しわり有り。
 - 3 黒鉛土上 (10Y17-1) 黒鉛土を微量含む。縦まり弱い。
 - 4 剥離土上 (10Y32-3) 細粒土や砂。縦まり弱い。粘性やや弱い。
 - 5 剥離土上 (10Y34-1) 白色粗石をワッカ状に含む。地主柱を微量含む。
 - 6 剥離土上 (10Y32-2) 縦まりや有り。粘性やや弱い。
 - 7 剥離土上 (10Y36-1) 縦まり有り。粘性弱し。

I-2号井戸 SPA

- 1 剥離土上 (10Y32-3) 縦まり有り。粘性弱い。
- 2 黒鉛土上 (10Y32-2) 地主柱を微量含む。縦まり弱い。粘性弱い。
- 3 剥離土上 (10Y32-3) 化成物を微量含む。縦まり有り。粘性弱い。
- 4 剥離土上 (10Y32-3) 黄褐色を微量含む。縦まり有り。粘性弱い。

- I-3号井戸 SPA
- 1 剥離土上 (10Y32-1) 白色粗石を少量。地主柱を微量含む。縦まり有り。粘性有り。
 - 2 剥離土上 (10Y32-1) 地主柱を微量含む。縦まりやや強い。粘性有り。
 - 3 剥離土上 (10Y32-1) 地主柱を微量含む。縦まり弱い。
 - 4 剥離土上 (10Y32-1) 地主柱を微量含む。縦まり弱い。
 - 5 剥離土上 (10Y32-2) 粘性粗砂。地主柱を微量含む。縦まり有り。粘性弱い。
 - 6 剥離土上 (10Y32-3) にひび裂隙を有するワッカ状に。縦まり弱い。粘性やや弱い。
 - 7 剥離土上 (10Y32-4) 剥離土質。
 - 8 剥離土上 (10Y32-5) 縦まり有り。粘性弱い。
 - 9 剥離土上 (10Y32-6) 縦まり有り。粘性弱い。
 - 10 にひび裂隙有り (10Y36-6) 剥離土質。

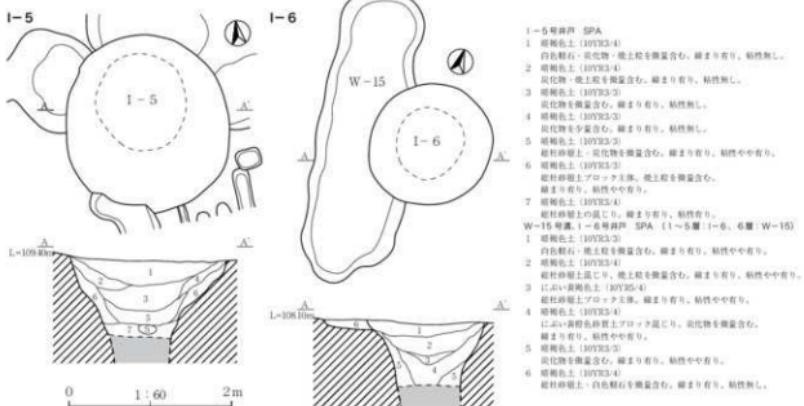
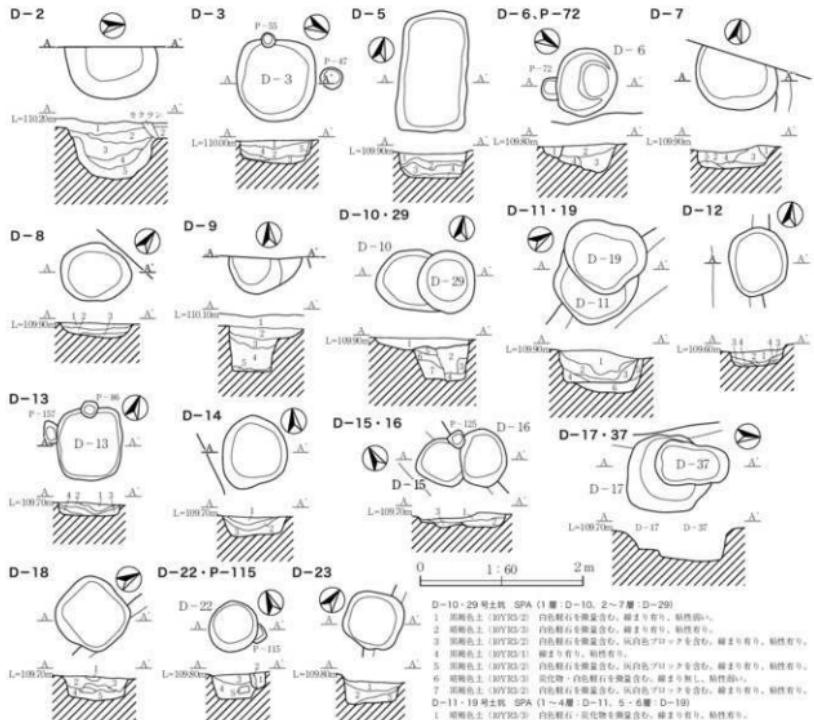


Fig.16 溝(3)、井戸



- D-2 布土地 SPA
1. 布土
2. 白色粘土 (10YR3/3) 白色粘石を含む。縮まり有り。粘性有り。
3. 布土
4. 白色粘土 (10YR3/3) 硅化物。地主柱を含む。縮まり有り。粘性有り。
5. ないし薄い黑色土 (10Y4/2) 土主柱を含む。縮まり有り。粘性有り。
- D-3 布土地 SPA
1. 布土
2. 白色粘土 (10YR3/3) 白色粘石を含む。土壤を含む。縮まり有り。粘性無。
3. 布土
4. 白色粘土 (10YR3/3) 硅化物。地主柱を含む。縮まり有り。粘性有り。
5. 布土
6. 白色粘土 (10YR3/4) 土主柱を含む。縮まり有り。粘性有り。
- D-5 布土地 SPA
1. 布土
2. 白色粘土 (10YR3/3) にじる葉緑植物の茎じごり。白色粘石を含む。縮まり有り。粘性有り。
3. 布土
4. 白色粘土 (10YR3/3) にじる葉緑植物の茎じごり。白色粘石を含む。縮まり有り。粘性有り。
5. 布土
6. 白色粘土 (10YR3/3) SPA (1層・D-10, 2~7層・D-29)
7. 布土
8. 白色粘土 (10YR3/3) 地主柱を含む。縮まり有り。粘性有り。
9. 布土
10. 白色粘土 (10YR3/3) 地主柱を含む。縮まり有り。粘性有り。
11. 布土
12. 白色粘土 (10YR3/3) 地主柱を含む。縮まり有り。粘性有り。
13. 布土
14. 白色粘土 (10YR3/3) 地主柱を含む。縮まり有り。粘性有り。
- D-6, P-72 布土地 SPA
1. 布土
2. 白色粘土 (10YR3/3) 地主柱を含む。縮まり有り。粘性有り。
3. 布土
4. 白色粘土 (10YR3/3) 地主柱を含む。縮まり有り。粘性有り。
- D-7 布土地 SPA
1. 布土
2. 白色粘土 (10YR3/3) 地主柱を含む。縮まり有り。粘性有り。
- D-8 布土地 SPA
1. 布土
2. 白色粘土 (10YR3/3) 地主柱を含む。縮まり有り。粘性有り。
- D-9 布土地 SPA
1. 布土
2. 白色粘土 (10YR3/3) 地主柱を含む。縮まり有り。粘性有り。
- D-10・29 布土地 SPA
1. 布土
2. 白色粘土 (10YR3/3) 地主柱を含む。縮まり有り。粘性有り。
- D-11・19 布土地 SPA
1. 布土
2. 白色粘土 (10YR3/3) 地主柱を含む。縮まり有り。粘性有り。
- D-12 布土地 SPA
1. 布土
2. 白色粘土 (10YR3/3) 地主柱を含む。縮まり有り。粘性有り。
- D-13 布土地 SPA
1. 布土
2. 白色粘土 (10YR3/3) 地主柱を含む。縮まり有り。粘性有り。
- D-14 布土地 SPA
1. 布土
2. 白色粘土 (10YR3/3) 地主柱を含む。縮まり有り。粘性有り。
- D-15・16 布土地 SPA
1. 布土
2. 白色粘土 (10YR3/3) 地主柱を含む。縮まり有り。粘性有り。
- D-17・37 布土地 SPA
1. 布土
2. 白色粘土 (10YR3/3) 地主柱を含む。縮まり有り。粘性有り。
- D-18 布土地 SPA
1. 布土
2. 白色粘土 (10YR3/3) 地主柱を含む。縮まり有り。粘性有り。
- D-22・P-115 布土地 SPA
1. 布土
2. 白色粘土 (10YR3/3) 地主柱を含む。縮まり有り。粘性有り。
- D-23 布土地 SPA
1. 布土
2. 白色粘土 (10YR3/3) 地主柱を含む。縮まり有り。粘性有り。

Fig.17 土坑 (1)

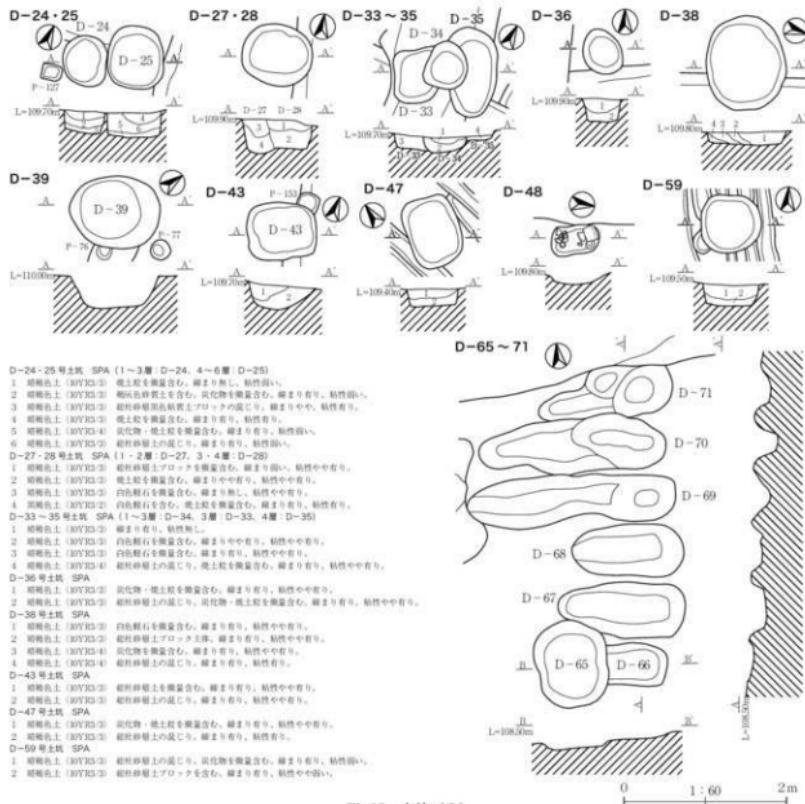


Fig.18 土坑(2)

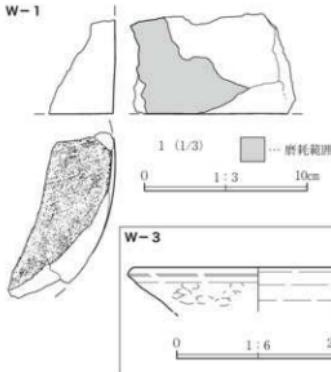
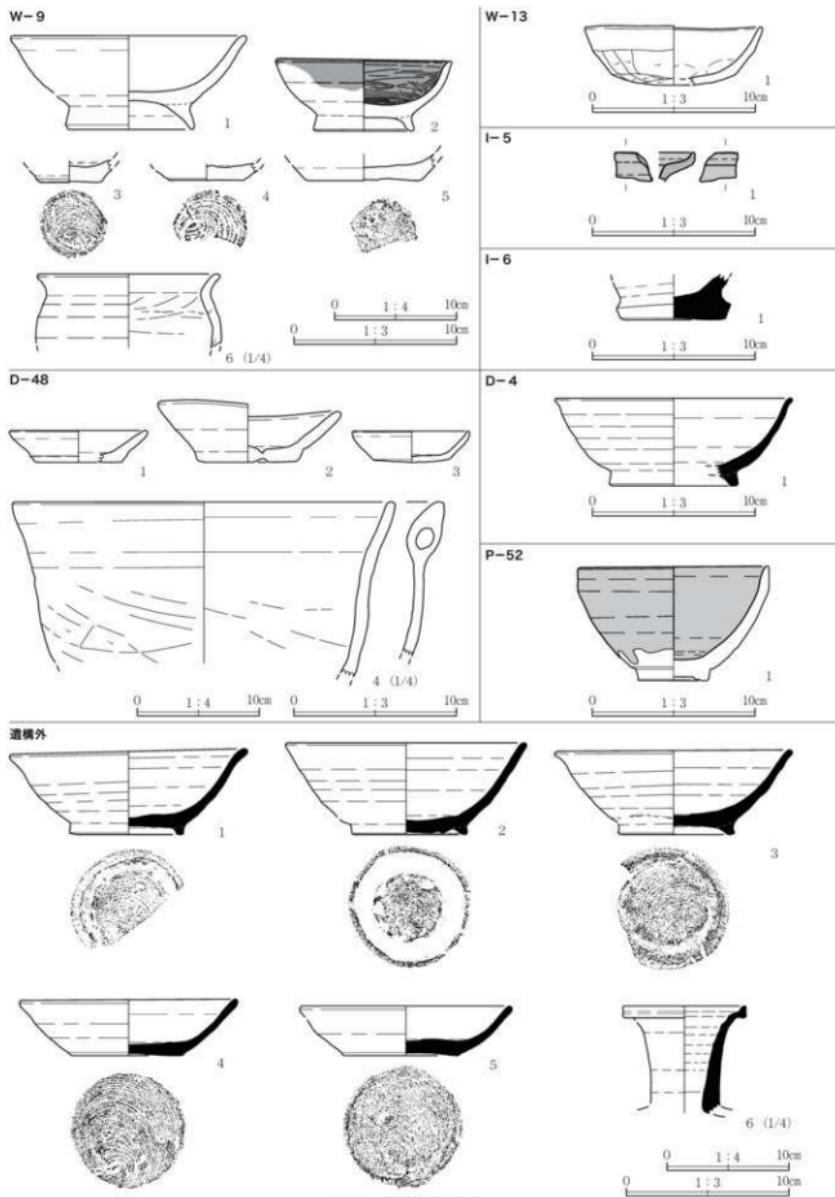


Fig.19 出土遺物(1)



Tab. 3 遺構計測表

掘立柱建物跡

遺構名	グリッド	平面形状	主軸方向	間隔×行数 (m)	平均幅員 (m)	平均深度 (m)	柱穴
B - 1	X252・253, Y386・387	長方形+	N - 78° - E	(3.27) × 5.96, (2間) × 3間	1.82	0.19	P - 50・57・78・93・159
B - 2	X252・253, Y387・388	長方形+	N - 76° - E	(2.54) × 3.96, (2間) × 2間	1.84	0.27	P - 43・44・47・62
B - 3	X366・368, Y377・388	長方形	N - 86° - W	4.46 × (6.46), 3間 × (4間)	1.97	0.17	P - 2・3・5・6・13・15・17・20・23・218・221・223
B - 4	X366・368, Y377・388	長方形	N - 87° - W	3.08 × (6.47), 2間 × (4間)	1.90	0.10	P - 4・16・18・20・31・230・222・223

溝

遺構名	グリッド	主軸方向	横幅員 (m)	上幅 (m)	下幅 (m)	深度 (m)	断面形状	備考
W - 1	X253 - 256, Y385 - 386	N - 80° - E	14.77	0.90	0.41	0.20	浅い逆台形	
W - 2	X254, Y384 - 385	N - 11° - W	4.81	0.95	0.48	0.10	浅い弧状	
W - 3	X255 - 256, Y384 - 389	N - 13° - W	18.93	1.29	1.01	0.20	浅い箱状	
W - 4	X256, Y384 - 385	N - 3° - E	4.54	0.33	0.11	0.05	弧状	
W - 5	X362 - 365, Y384 - 390	N - 1 - 64° - E	24.16	3.22	(2.10) (1.50)	逆台形	10世紀代。自然流路。	
W - 6	X363 - 364, Y388 - 390	N - 33 - 77° - E	8.02	3.71	(2.56) (1.22)	逆台形	10世紀代。自然流路。	
W - 7	X384 - 388, Y263 - 264	N - 5° - W	16.29	1.71	0.75	0.52	弧状	W - 5より新しい。
W - 8	X255 - 256, Y384 - 388	N - 11° - W	19.82	1.42	1.02	0.21	逆台形	
W - 9	X256 - 257, Y384 - 389	N - 1° - W	17.93	1.69	1.02	0.54	逆台形	10世紀代。
W - 10	X258 - 260, Y388 - 389	N - 67° - E	7.65	1.63	0.64	0.14	弧状	近世以降。底面硬化。道路状道構。
W - 11	X258 - 260, Y388 - 389	N - 67° - E	9.74	1.03	0.91	0.10	浅い弧状	近世以降。底面硬化。道路状道構。
W - 12	X264 - 265, Y386	N - 52° - E	2.51	0.74	0.36	0.43	逆台形	
W - 13	X265, Y385 - 388	N - 5° - W	11.20	2.38	1.20	0.74	逆台形	W - 5より古い。
W - 14	X257, Y386 - 388	N - 6° - W	8.47	0.24	0.07	0.05	浅い弧状	
W - 15	X262, Y388 - 389	N - 9° - W	3.63	1.20	0.89	0.20	浅い弧状	
W - 16	X360 - 361, Y385 - 388	N - 4° - E	16.45	0.82	0.35	0.12	逆台形	近世以降。
W - 17	X265 - 267, Y383	N - 90° - E	10.60	2.25	0.40	0.49	逆台形	中世。
W - 18	X265, Y385 - 386	N - 13° - W	6.25	0.60	0.18	0.20	弧状	
W - 19	X265, Y385 - 386	N - 4° - W	5.91	0.36	0.16	0.08	逆台形	
W - 20	X364 - 368, Y369 - 388	N - 4 - 35° - E	38.72	2.10 (0.24)	(1.15)	逆台形	中世以降。調査区東南岸辺に沿って確認。	
W - 21	X266 - 267, Y383	N - 90° - E	4.77	0.30	0.15	0.13	逆台形	
W - 22	X365 - 368, Y379 - 381	N - 84° - E	12.29	3.33	2.64	0.66	逆台形	中世以降。土壌状の高まり高さ0.06m, 幅0.80m, 北側の小溝幅0.24m, 濱さ0.06m。

井戸

遺構名	グリッド	長幅 (m)	短幅 (m)	確認深度 (m)	平面形状	出土遺物	備考
I - 1	X267, Y376	1.2	1.1	0.87	円形	鉢質陶器, 陶器皿	
I - 2	X365, Y386 - 387	0.95	0.87	0.66	円形		
I - 3	X253 - 254, Y385	1.31	1.19	0.83	稍円形	土師器, 陶器皿, 陶器	
I - 4	X253 - 254, Y387	1.35	1.29	1.06	円形	土師器, 陶器皿, 陶器	
I - 5	X258 - 259, Y386 - 387	2.17	2.08	0.99	円形	青磁(盤), 陶器	
I - 6	X362, Y388	1.55	1.45	0.83	円形	示器器(陶片)	

土坑

遺構名	グリッド	長幅 (m)	短幅 (m)	深さ (m)	平面形状	備考	遺構名	グリッド	長幅 (m)	短幅 (m)	深さ (m)	平面形状	備考
D - 1	X253 - 253, Y385	1.22	0.91	0.43	長方形	墓坑	D - 20	X256, Y386	0.73	0.62	0.37	梢円形	
D - 2	X253, Y386	1.10	0.68	0.61	円形		D - 21	X256, Y386	0.55	0.47	0.28	梢円形	
D - 3	X253, Y387 - 388	1.01	0.96	0.36	方形		D - 22	X254, Y385	0.62	0.60	0.39	円形	
D - 4	X253, Y386	1.28	1.18	0.08	方形		D - 23	X255, Y386	0.71	0.69	0.37	方形	
D - 5	X253, Y384	1.48	0.82	0.35	長方形	墓坑	D - 24	X254 - 255, Y385	0.63	0.54	0.47	梢円形	
D - 6	X255, Y386	0.83	0.75	0.38	梢円形		D - 25	X255, Y385	0.77	0.67	0.49	楕丸形	
D - 7	X253 - 254, Y384	1.00	0.71	0.25	円形		D - 26	X254 - 255, Y388	0.99	0.86	0.10	梢円形	
D - 8	X254, Y384	0.87	0.79	0.18	梢円形		D - 27	X253 - 254, Y384	0.71	0.51	0.42	円形	
D - 9	X254, Y384	0.94	0.60	0.55	梢円形		D - 28	X253 - 254, Y384	0.68	0.56	0.36	円形	
D - 10	X254 - 255, Y384 - 385	1.17	0.75	0.54	梢円形		D - 29	X254 - 255, Y384 - 385	0.78	0.70	0.50	円形	
D - 11	X254, Y385	1.02	0.67	0.42	梢円形		D - 30	X256, Y386	0.62	0.59	0.07	梢円形	
D - 12	X256, Y386	0.80	0.72	0.25	椭丸形		D - 31	X256, Y385 - 386	0.62	0.41	0.05	梢円形	
D - 13	X255 - 256, Y386 - 387	0.90	0.81	0.18	方形		D - 32	X256, Y385	0.57	0.56	0.13	円形	
D - 14	X256, Y386	0.83	0.80	0.24	円形		D - 33	X255, Y385	0.64	0.52	0.26	方形	墓坑
D - 15	X255 - 256, Y385	0.61	0.56	0.25	方形		D - 34	X255 - 256, Y385	0.54	0.51	0.29	円形	墓坑
D - 16	X256, Y385	0.71	0.56	0.18	円形		D - 35	X255 - 256, Y385	1.10	0.56	0.14	梢円形	墓坑
D - 17	X255, Y384	1.04	0.96	0.28	梢円形		D - 36	X253, Y385	0.58	0.47	0.36	梢円形	
D - 18	X255, Y385 - 386	0.85	0.80	0.36	方形		D - 37	X255, Y384	0.88	0.51	0.41	長方形	
D - 19	X253 - 254, Y384 - 385	1.01	0.90	0.55	梢円形		D - 38	X255, Y387	1.15	0.97	0.22	円形	

遺構名	グリッド	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	平面形状	備考	遺構名	グリッド	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	平面形状	備考
D - 39	X253・254、Y367・368	1.12	0.88	0.44	橢円形		D - 60	X258、Y387	1.05	0.43	0.21	不整形	
D - 40	X255、Y386	0.73	0.64	0.24	橢円形		D - 61	X257・258、Y386	1.37	0.87	0.09	不整形	探査坑
D - 41	X254、Y388	0.77	0.69	0.16	方形		D - 62	X263、Y385	0.58	0.48	0.75	円形	
D - 42	X255・256、Y388	1.03	0.81	0.41	橢円形		D - 63	X262、Y386	0.97	0.76	0.10	不整形	
D - 43	X255・256、Y388	0.86	0.71	0.38	方形		D - 64	X263、Y385	0.79	0.78	0.20	円形	
D - 44	X256、Y387	0.53	0.52	0.30	円形		D - 65	X265、Y384	1.07	0.90	0.10	橢丸方形	探査坑
D - 45	X256、Y384・385	1.60	0.72	0.33	橢円形		D - 66	X265・266、Y384	0.70	0.52	0.05	橢円形	探査坑
D - 46	X259・260、Y388	0.96	0.61	0.35	橢円形	探査坑	D - 67	X265・266、Y384	1.57	0.68	0.19	橢円形	探査坑
D - 47	X258、Y388	0.88	0.65	0.21	方形		D - 68	X265・266、Y384	1.38	0.64	0.21	橢円形	探査坑
D - 48	X256、Y384	0.62	0.34	0.12	方形	遺坑	D - 69	X265・266、Y384	2.56	0.62	0.17	橢円形	探査坑
D - 49	X258、Y	0.95	0.65	0.27	方形		D - 70	X265・266、Y384	2.30	0.70	0.16	橢円形	探査坑
D - 50	X259、Y388	0.86	0.70	0.11	橢円形	探査坑	D - 71	X265・367、Y383・384	1.03	0.68	0.23	橢円形	探査坑
D - 51	X258、Y385	0.72	0.53	0.14	不整形		D - 72	X256、Y387	0.55	0.53	0.41	円形	
D - 52	X256、Y387	0.52	0.47	0.25	橢円形		D - 73	X258、Y388	0.58	0.43	0.28	円形	
D - 53	X256、Y387	0.76	0.60	0.22	橢円形		D - 74	X258、Y388	0.67	0.24	0.13	円形	
D - 54	X259、Y387	1.05	0.96	0.05	方形		D - 75	X、Y	0.87	0.54	0.14	長方形	探査坑
D - 55	X260、Y387	0.65	0.61	0.06	方形		D - 76	X256、Y387	0.70	0.46	0.28	橢円形	
D - 56	X258、Y388・389	0.93	0.50	0.23	橢円形		D - 77	X259、Y385	0.70	0.65	0.04	方形	
D - 57	X258、Y388・389	0.62	0.41	0.20	橢円形		D - 78	X256、Y387	0.56	0.53	0.30	円形	
D - 58	X258、Y388	0.68	0.59	0.34	方形		D - 79	X256、Y387	0.78	0.75	0.22	円形	
D - 59	X258、Y387	0.74	0.71	0.32	円形								

ピット

遺構名	グリッド	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	遺構名	グリッド	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	遺構名	グリッド	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)
P - 1	X266、Y376	0.19	0.18	0.21	P - 35	X253、Y388	0.22	0.21	0.21	P - 69	X253、Y388	0.42	0.28	0.12
P - 2	X266、Y377	0.18	0.16	0.08	P - 36	X253、Y388	0.29	0.29	0.17	P - 70	X253、Y388	0.29	0.26	0.25
P - 3	X267、Y377	0.22	0.17	0.06	P - 37	X253、Y388	0.21	0.19	0.26	P - 71	X253、Y388	0.34	0.32	0.16
P - 4	X266、Y377	0.19	0.15	0.15	P - 38	X253、Y388	0.31	0.30	0.29	P - 72	X255、Y386	0.31	0.27	0.13
P - 5	X266、Y377	0.19	0.16	0.26	P - 39	X253、Y388	0.26	0.15	0.23	P - 73	X254、Y387・388	0.27	0.26	0.28
P - 6	X267、Y377	0.17	0.16	0.10	P - 40	X253、Y388	0.25	0.21	0.11	P - 74	X254、Y388	0.21	0.20	0.25
P - 7	X267、Y377	0.26	0.23	0.25	P - 41	X253、Y388	0.21	0.17	0.20	P - 75	X254、Y388	0.35	0.32	0.17
P - 8	X266、Y377	0.18	0.17	0.14	P - 42	X253、Y388	0.34	0.27	0.15	P - 76	X254、Y387・388	0.73	0.47	0.31
P - 9	X266、Y377・378	0.22	0.20	0.31	P - 43	X253、Y388	0.21	0.20	0.28	P - 77	X254、Y387	0.24	0.24	0.30
P - 10	X266、Y378	0.20	0.16	0.05	P - 44	X253、Y388	0.29	0.26	0.29	P - 78	X253、Y386・387	0.34	0.23	0.33
P - 11	X267、Y378	0.21	0.17	0.06	P - 45	X253、Y388	0.28	0.25	0.28	P - 79	X253、Y386・387	0.17	0.16	0.12
P - 12	X267、Y378	0.30	0.27	0.16	P - 46	X253、Y387	0.24	0.24	0.10	P - 80	X253、Y386	0.17	0.15	0.20
P - 13	X266、Y378	0.14	0.14	0.26	P - 47	X253、Y387	0.28	0.26	0.14	P - 81	X253、Y386	0.27	0.27	0.33
P - 14	X266、Y378	0.23	0.20	0.19	P - 48	X253、Y387	0.23	0.20	0.24	P - 82	X253、Y386	0.29	0.27	0.39
P - 15	X266、Y378	0.20	0.18	0.28	P - 49	X253、Y387	0.31	0.28	0.39	P - 83	X254、Y387	0.30	0.28	0.39
P - 16	X266、Y378	0.20	0.20	0.16	P - 50	X253、Y387	0.38	0.33	0.28	P - 84	X254、Y387	0.29	0.25	0.18
P - 17	X267、Y378	0.20	0.19	0.38	P - 51	X253、Y387	0.28	0.25	0.36	P - 85	X254、Y386	0.31	0.25	0.29
P - 18	X267、Y378	0.20	0.19	0.09	P - 52	X253、Y388	0.22	0.21	0.18	P - 86	X255・256、Y386	0.22	0.22	0.20
P - 19	X267、Y378	0.18	0.16	0.10	P - 53	X253、Y388	0.20	0.19	0.21	P - 87	X253、Y387	0.42	0.34	0.11
P - 20	X267、Y378	0.24	0.21	0.24	P - 54	X253、Y388	0.27	0.26	0.29	P - 88	X254、Y387	0.22	0.22	0.19
P - 21	X266、Y378	0.24	0.21	0.14	P - 55	X253、Y388	0.18	0.18	0.23	P - 89	X254、Y387	0.22	0.20	0.12
P - 22	X267、Y378	0.17	0.17	0.10	P - 56	X253、Y387	0.38	0.33	0.41	P - 90	X255、Y387	0.18	0.17	0.13
P - 23	X267、Y377	0.14	0.12	0.05	P - 57	X253、Y387	0.21	0.19	0.17	P - 91	X254、Y386	0.25	0.15	0.07
P - 24	X266、Y377	0.16	0.15	0.05	P - 58	X253、Y387	0.13	0.12	0.05	P - 92	X253、Y386	0.32	0.29	0.48
P - 25	X266、Y377	0.24	0.22	0.08	P - 59	X253、Y387	0.20	0.19	0.19	P - 93	X253、Y386	0.23	0.22	0.10
P - 26	X266、Y378	0.13	0.12	0.13	P - 60	X253、Y387	0.25	0.21	0.26	P - 94	X253、Y386	0.25	0.21	0.12
P - 27	X266、Y378	0.19	0.19	0.05	P - 61	X253、Y387	0.28	0.27	0.50	P - 95	X253、Y385・386	0.35	0.29	0.37
P - 28	X266、Y378	0.19	0.15	0.15	P - 62	X253、Y387	0.24	0.22	0.32	P - 96	X254、Y386	0.21	0.18	0.12
P - 29	X266、Y378	0.21	0.21	0.05	P - 63	X253、Y386	0.23	0.20	0.20	P - 97	X254・255、Y387	0.59	0.46	0.32
P - 30	X266、Y378	0.25	0.25	0.18	P - 64	X253、Y386	0.29	0.25	0.11	P - 98	X255、Y387	0.22	0.21	0.33
P - 31	X266、Y378	0.22	0.19	0.07	P - 65	X253、Y386	0.19	0.16	0.07	P - 99	X254、Y386	0.24	0.23	0.27
P - 32	X266、Y377	0.19	0.12	0.06	P - 66	X253、Y387	0.34	0.31	0.42	P - 100	X255、Y388	0.27	0.26	0.26
P - 33	X266、Y377	0.22	0.17	0.14	P - 67	X253、Y388	0.27	0.24	0.12	P - 101	X255、Y388	0.24	0.23	0.13
P - 34	X266、Y378	0.24	0.21	0.06	P - 68	X253、Y388	0.20	0.15	0.17	P - 102	X255、Y388	0.23	0.22	0.21

直機名	グリッド	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)
P - 103	X255, Y388	0.25	0.22	0.39
P - 104	X255, Y388	0.26	0.26	0.26
P - 105	X255, Y388	0.27	0.25	0.06
P - 106	X255, Y386	0.12	0.12	0.10
P - 107	X255, Y386	0.17	0.15	0.29
P - 108	X255, Y386	0.25	0.23	0.20
P - 109	X255, Y386	0.30	0.26	0.23
P - 110	X255, Y387	0.29	0.28	0.23
P - 111	X255, Y387	0.25	0.21	0.16
P - 112	X255, Y387	0.26	0.21	0.14
P - 113	X255, Y387	0.34	0.25	0.31
P - 114	X256, Y386	0.28	0.23	0.28
P - 115	X254, Y385	0.22	0.19	0.26
P - 116	X256, Y388	0.19	0.18	0.20
P - 117	X256, Y388	0.23	0.19	0.16
P - 118	X256, Y388	0.23	0.19	0.07
P - 119	X256, Y388	0.24	0.24	0.10
P - 120	X256, Y387	0.27	0.23	0.18
P - 121	X256, Y387	0.34	0.23	0.12
P - 122	X254, Y388	0.24	0.22	0.30
P - 123	X254, Y388	0.29	0.27	0.30
P - 124	X253, Y385	0.49	0.34	0.36
P - 125	X256, Y385	0.21	0.21	0.19
P - 126	X254, Y385	0.22	0.21	0.25
P - 127	X254, Y385	0.27	0.22	0.18
P - 128	X254, Y388	0.23	0.22	0.14
P - 129	X254, Z55, Y388	0.36	0.36	0.05
P - 130	X256, Y386	0.36	0.27	0.22
P - 131	X253, Y387	0.23	0.21	0.27
P - 132	X254, Y386	0.28	0.27	0.15
P - 133	X285, Y386	0.49	0.48	0.30
P - 134	X254, Y386	0.27	0.21	0.28
P - 135	X253, Z54, Y388	0.42	0.37	0.33
P - 136	X254, Y388	0.23	0.21	0.17
P - 137	X254, Y386	0.26	0.23	0.35
P - 138	X256, Y387	0.48	0.45	0.17
P - 139	X253, Y385	0.31	0.25	0.34
P - 140	X256, Y385	0.26	0.26	0.16
P - 141	X256, Y385	0.22	0.21	0.08
P - 142	X256, Y385	0.25	0.19	0.24
P - 143	X253, Y385	0.25	0.23	0.48
P - 144	X256, Y386	0.23	0.20	0.17
P - 145	X256, Y386	0.23	0.22	0.32
P - 146	X256, Y386	0.29	0.18	0.29
P - 147	X256, Y386	0.26	0.25	0.32
P - 148	X256, Y387	0.37	0.30	0.12
P - 149	X256, Y386	0.22	0.20	0.15
P - 150	X256, Y386	0.18	0.14	0.17
P - 151	X256, Y386	0.19	0.17	0.17
P - 152	X256, Y387	0.24	0.21	0.31
P - 153	X256, Y388	0.26	0.24	0.18
P - 154	X256, Y387	0.44	0.41	0.26
P - 155	X256, Y387	0.34	0.31	0.34
P - 156	X256, Y386	0.26	0.24	0.35
P - 157	X255, Y387	0.26	0.23	0.17
P - 158	X253, Y386	0.27	0.26	0.20
P - 159	X253, Y386	0.31	0.28	0.38
P - 160	X254, Y387	0.26	0.24	0.17
P - 161	X257, Y386	0.25	0.23	0.15
P - 162	X259, Y388	0.25	0.23	0.21
P - 163	X257, Y386	0.28	0.25	0.48
P - 164	X257, Y386	0.26	0.25	0.18
P - 165	X260, Y387	0.23	0.19	0.13
P - 166	X260, Y387	0.23	0.18	0.25
P - 167	X260, Y387	0.20	0.18	0.27
P - 168	X257, Y386	0.24	0.21	0.19
P - 169	X260, Y385	0.29	0.21	0.30
P - 170	X260, Y385	0.19	0.18	0.21
P - 171	X260, Y385	0.32	0.28	0.30
P - 172	X260, Y386	0.38	0.27	0.35
P - 173	X260, Y386	0.19	0.17	0.27
P - 174	X260, Y386	0.23	0.21	0.07
P - 175	X260, Y386	0.39	0.32	0.37
P - 176	X260, Y386	0.21	0.19	0.29
P - 177	X259, Y386	0.26	0.23	0.07
P - 178	X260, Y386	0.22	0.22	0.21
P - 179	X260, Y386	0.27	0.24	0.22
P - 180	X260, Y385	0.27	0.25	0.20
P - 181	X260, Y385	0.28	0.27	0.36
P - 182	X260, Y385	0.33	0.32	0.40
P - 183	X257, Y385	0.27	0.24	0.14
P - 184	X258, Y385	0.31	0.30	0.24
P - 185	X258, Y385	0.23	0.17	0.13
P - 186	X258, Y385	0.37	0.29	0.31
P - 187	X258, Z59, Y385	0.27	0.24	0.06
P - 188	X260, Y385	0.32	0.29	0.38
P - 189	X260, Y385	0.28	0.25	0.34
P - 190	X260, Y385	0.35	0.26	0.32
P - 191	X260, Y385, Y386	0.23	0.21	0.07
P - 192	X260, Z61, Y385	0.31	0.31	0.44
P - 193	X260, Y386	0.18	0.17	0.27
P - 194	X258, Y384	0.21	0.20	0.01
P - 195	X257, Y385	0.23	0.22	0.11
P - 196	X257, Y385	0.24	0.22	0.19
P - 197	X258, Y385	0.25	0.25	0.30
P - 198	X257, Y385, Y386	0.27	0.24	0.33
P - 199	X257, Y385	0.35	0.32	0.30
P - 200	X257, Y385	0.24	0.23	0.16
P - 201	X257, Y385	0.25	0.22	0.36
P - 202	X265, Y384	0.17	0.16	0.19
P - 203	X258, Y388	0.23	0.20	0.25
P - 204	X260, Y388	0.20	0.18	0.29
P - 205	X260, Y388	0.28	0.23	0.28
P - 206	X260, Y388	0.24	0.21	0.32
P - 207	X259, Y388	0.30	0.22	0.22
P - 208	X259, Y388, Y389	0.28	0.25	0.18
P - 209	X258, Z59, Y389	0.32	0.25	0.26
P - 210	X258, Y389	0.35	0.24	0.29
P - 211	X259, Y388	0.30	0.25	0.48
P - 212	X260, Y389	0.26	0.23	0.28
P - 213	X260, Y389	0.26	0.25	0.37
P - 214	X260, Y388	0.49	0.40	0.25
P - 215	X257, Y386	0.24	0.21	0.31
P - 216	X266, Y376	0.14	0.13	0.12
P - 217	X266, Y376, Y377	0.21	0.20	0.07
P - 218	X266, Y377	0.15	0.13	0.21
P - 219	X266, Y377	0.21	0.18	0.02
P - 220	X266, Y377	0.17	0.16	0.12
P - 221	X267, Y377	0.16	0.15	0.07
P - 222	X267, Y377	0.15	0.14	0.08

Tab. 4 出土遺物観察表

W - 1

No	出土位置	種別、器種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	重量 (g)	材質	壺形、成・壺形、文様等の特徴			残存状況・備考
1	覆土	系口 上目	(24.0)	(6.1)	2579	去式肩	側面の溝は墨糸により傷かに残る。画面は滑らかに磨く。				小片。

W - 3

No	出土位置	種別、器種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	胎土	焼成	色調	壺形、成・壺形、文様等の特徴		残存状況・備考
1	覆土	執豆部 頂	(32.0)	-	(5.4)	白・黑色糸	良好	褐	外腹口縁部横ナデ。以下下クロナダ。部分的に指痕(執豆)有り。内面糊ナダ。		口縁部破片。

W - 5

No	出土位置	種別、器種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	胎土	焼成	色調	壺形、成・壺形、文様等の特徴		残存状況・備考
1	覆土	執豆部 頂	(32.0)	-	(5.4)	白・黑色糸	良好	褐	外腹口縁部横ナデ。以下下クロナダ。部分的に指痕(執豆)有り。内面糊ナダ。		口縁部破片。
2	覆土	黑土器 売	-	(6.8)	(3.3)	白・黑色糸	糊化	褐	外腹口縁部横ナデ。底部内輪名切り後、高台貼付け。		底部。

W - 8

No	出土位置	種別、器種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	胎土	焼成	色調	壺形、成・壺形、文様等の特徴		残存状況・備考
1	覆土	祇忠器 盆	(19.6)	-	4.3	白・黑色糸	良好	灰	外腹口縁部横ナデ。底部内輪名切り後、糊み貼付け。		1/2残存。
2	覆土	祇忠器 盆	-	(10.2)	(3.7)	黑色糸	良好	糊灰	外腹口縁部横ナデ。底部内輪名切り後、高台貼付け。		底部。

W - 9

No	出土位置	種別、器種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	胎土	焼成	色調	壺形、成・壺形、文様等の特徴		残存状況・備考
1	覆土	祇忠器 盆	(14.4)	8.0	5.9	赤・黑色糸	糊化	褐	外腹口縁部横ナデ。底部内輪名切り後、高台貼付け。		糊化後成。
2	覆土	黑色土器 売	11.0	6.4	4.3	白色糸	糊化	外・内・黒	外腹口縁部横ナデ。底部内輪名切り後、高台貼付け。		完存。
3	覆土	祇忠器 环	-	3.8	(1.2)	白・黑色糸	良好	浅黄	外腹口縁部横ナデ。底部内輪名切り後、内面口クロナダ。		底部。少くらけ。
4	覆土	祇忠器 环	-	4.5	(1.2)	白・黑色糸	良好	浅黄	外腹口縁部横ナデ。底部内輪名切り後、内面口クロナダ。		底部。少くらけ。
5	覆土	祇忠器 环	-	(7.0)	1.8	白・黑色糸	良好	浅黄	外腹口縁部横ナデ。底部内輪名切り後、内面口クロナダ。		底部。少くらけ。
6	覆土	土器	(15.0)	-	(6.2)	赤・白・黑色糸	良好	褐	外腹口縁部横ナデ。		口縁部。小片。

W - 13

No	出土位置	種別、器種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	胎土	焼成	色調	壺形、成・壺形、文様等の特徴		残存状況・備考
1	覆土	土器器 环	(11.0)	(7.0)	3.6	白・黑色糸	良好	褐	外腹全体一帯横ウタヌリ。のち口縁部横ナデ。内面糊ナダ。スピ神付。		少片。

I - 5

No	出土位置	種別、器種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	胎土	焼成	色調	壺形、成・壺形、文様等の特徴		残存状況・備考
1	覆土	青磁 売	-	-	(1.8)	粘土質	糊微	明灰	外腹全体一帯横ウタヌリ。のち口縁部横ナデ。		口縁部。小片。

I - 6

No	出土位置	種別、器種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	胎土	焼成	色調	壺形、成・壺形、文様等の特徴		残存状況・備考
1	覆土	祇忠器 陶白	-	8.7	(3.8)	白・黑色糸	良好	灰	外腹口縁部横ナデ。底部内輪名切り後、ヘラケズリ。内面糊ナダ。		底部。

D - 4

No	出土位置	種別、器種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	胎土	焼成	色調	壺形、成・壺形、文様等の特徴		残存状況・備考
1	覆土	祇忠器 売	(14.6)	(8.0)	5.4	白・黑色糸	良好	褐	外腹口縁部横ナデ。底部内輪名切り後、高台貼付け。		1/2残存。

D - 48

No	出土位置	種別、器種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	胎土	焼成	色調	壺形、成・壺形、文様等の特徴		残存状況・備考
1	床面	かわらけ	(8.5)	(5.2)	2.0	黑色糸	良好	褐	外腹横ナデ。底部内輪名切り後。内面糊ナダ。		1/2残存。
2	床面	かわらけ	11.4	6.5	3.9	白・黑色糸	良好	褐	外腹横ナデ。底部内輪名切り後。内面糊ナダ。		完存。
3	床面	かわらけ	7.4	4.8	2.1	白・黑色糸	良好	浅黄	外腹横ナデ。底部内輪名切り後。内面糊ナダ。		完存。
4	床面	内耳土器	(31.3)	-	(14.3)	黑・黑色糸	良好	褐	外腹全体一帯横ナデ。底部ヘラケズリ。内面糊ナダ。		3/5残存。 内耳2箇所。

P - 52

No	出土位置	種別、器種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	胎土	焼成	色調	壺形、成・壺形、文様等の特徴		残存状況・備考
1	覆土	天目茶碗	11.6	4.3	7.0	粘土質	良好	糊灰	床面からやえをもつて立上りがあり。口縁部はやや立ち上る。外腹は綱一体部。内面に鉢底施釉。外腹高台周辺は施釉。削り立し。高台。無高台。		天目第4段腰き。

造構外

No	出土位置	種別、器種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	胎土	焼成	色調	壺形、成・壺形、文様等の特徴		残存状況・備考
1	W - 7 覆土	祇忠器 売	(14.8)	(7.0)	5.2	白色糸	良好	灰	外腹口縁部横ナデ。底部内輪名切り後。高台貼付け。		1/2残存。
2	W - 7 覆土	祇忠器 売	(14.4)	7.0	5.7	白・黑色糸	良好	糊灰	外腹口縁部横ナデ。底部内輪名切り後。高台貼付け。		1/2残存。
3	W - 7 覆土	祇忠器 売	14.6	7.1	5.2	白・黑色糸、黒母	良好	糊灰	外腹口縁部横ナデ。底部内輪名切り後。高台貼付け。		ほぼ完存。
4	W - 7 覆土	祇忠器 売	13.6	6.8	3.5	白色糸	良好	灰	外腹口縁部横ナデ。底部内輪名切り後。内面糊ナダ。		完存。
5	W - 7 覆土	祇忠器 売	(13.6)	7.0	3.1	白・黑色糸	良好	糊灰	外腹口縁部横ナデ。底部内輪名切り後。内面糊ナダ。		2/3残存。
6	W - 7 覆土	祇忠器 長颈瓶	(10.0)	-	(9.3)	白・黑色糸	良好	糊	外腹口縁部横ナデ。		口縁部。

VI まとめ

今回の調査では平安時代から近世までの遺構が多く確認された。ここでは調査成果を基に古代の溝と調査区北側の空間について若干の考察を加え、まとめとしたい。

古代の溝

W-5・6は中世の遺物の出土が無い事、覆土中にAs-Bの堆積が確認できない等から古代末に埋没した溝と考えられる。W-5上流部では下流部と比べ浅くて狭く、若干蛇行するような流路であることから自然流路の様相が見られる。中一下流部では側壁がやや直線的に立ち上がり底面までも深く、幅も広いため人工的に掘削されたような印象を受ける。元々、台地縁辺部を流れている自然流路を一部改修して規模の大きい溝へと変化させた可能性が考えられる。溝の性格としては上流域の排水のための溝であったのではないだろうか。下流には西部第一落合遺跡群（1）で確認された上幅18m、深さ2mのW-1があるため、これに合流させ排水していたと想定される。

W-9も古代末に想定される溝である。南北方向へ直線的に延び、南へ行くにつれて幅が広がる。底部は一部に段を有するが、全体的に平坦である。他の溝と比べて丁寧に掘削された印象を受ける。この溝から東側で總社砂層の探査坑が散見される。探査坑は集落域からやや離れた河川の崖線付近で確認される事が多い。

W-9は本遺跡西側に広がる集落の境界の役割を担っていた区画溝であったのではないだろうか。

調査区北側の空間

W-22から北側は掘立柱建物跡2棟、井戸1基、ピット40基程と他の地点と比較して遺構が少なく、古代まで遡る遺構は確認されなかった。遺構面は硬質な總社砂層で全体的に平坦である。中世の頃に古代の遺構面を削平し、平坦に整地したと考えられる。またW-22の北側には土壘状の高まりが確認された。まるでW-22より北側の空間を区画しているように感じられた。平坦に整地し、土壘状の高まりで区画された空間内には何があったのだろうか。本遺跡は元總社地区にかつて存在した蒼海城の南方にある。「蒼海城絵図」（複製前橋市總社公民館蔵）や「蒼海城縄張図」（Fig.22）では本遺跡周辺は「天神」と描かれている。また總社神社に設置されている「蒼海城縄地図」には「天神」とともに社のマークが描かれている。周辺に神社に関係する施設があったのだろうか。今回の調査では掘立柱建物跡と井戸の確認のみで、その存在を示すような遺構・遺物は出土していない。空間の性格を特定をすることは難しいが、本遺跡北側に何か特別な空間が広がっていたと推測される。

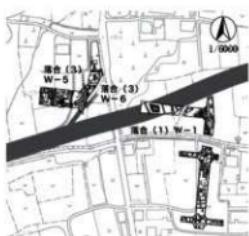


Fig.21 溝想定図



Fig.22 蒼海城縄張図
(山崎一 1978『群馬県古墳墓の研究 上巻』より一部改変)

註

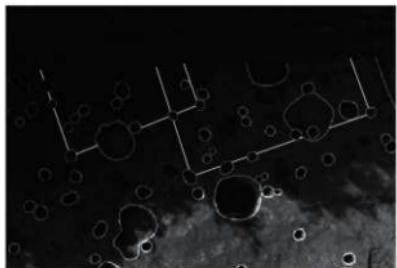
1. W-5からW-16の間は總社砂層の平坦な面で、遺構の検出数は少ない。状況から判断すると元々調査区西側から続く台地部がW-5付近まで伸びており、W-5からW-16の間は中世・近世以降に削平されたと考えられる。
2. 本遺跡から北西200mに位置する平成28年度上野国府等範囲内容確認調査トレンチ46において8~10世紀代の堅穴建物跡が22軒確認されている。本遺跡西側に古代の集落が広がっていたと推測される。



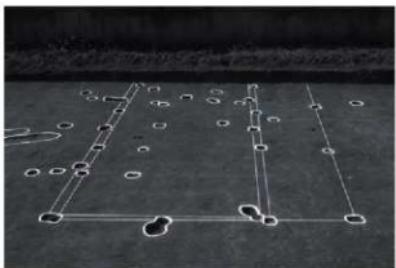
調査区全景（上が北）



調査区西側全景（東から）



B-1・2号掘立柱建物跡全景（上方から西）



B-3・4号掘立柱建物跡全景（東から）



W-1号溝全景（西から）



W-3・8号溝全景（南から）



W-5・6号溝全景（南から）



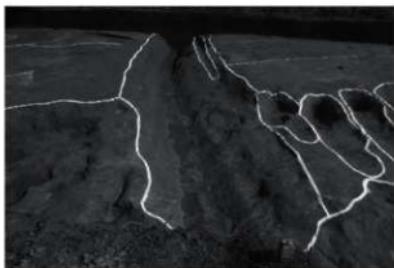
W-7・13号溝全景（南から）



W-9号溝全景（南から）



W-10・11号溝全景（南北から）



W-17・21号溝全景（西から）



W-20号溝全景（北から）



W-22号溝全景（東から）



I-5号井戸全景（東から）



D-65~71号井戸全景（西から）



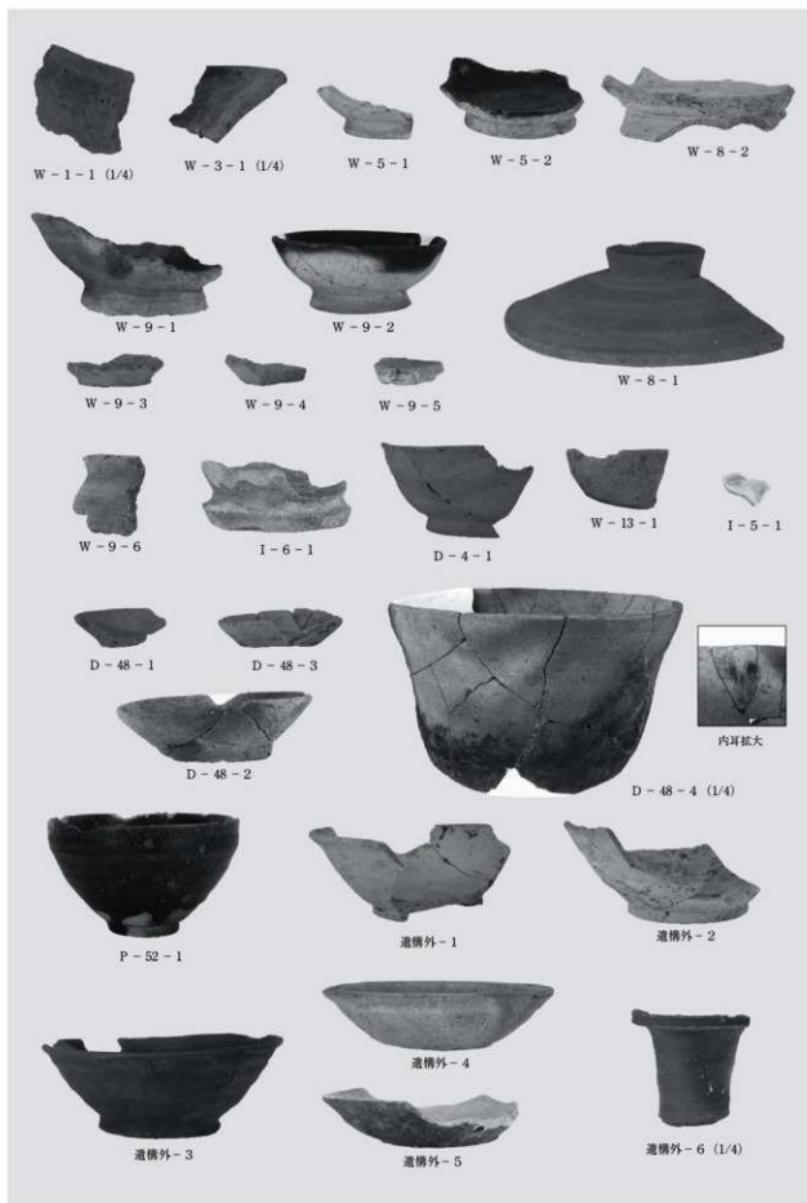
掘堀坑全景（北から）



高路全景（北から）



P-52号ピット遺物出土状況（北から）



報告書抄録

カタカナ	セイブダイイチオチアイセキダン (3)
書名	西部第一落合遺跡群 (3)
副書名	前橋都市計画事業西部第一落合土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者名	曾根 裕
編集機関	技研コンサル株式会社
編集機関所在地	〒371-0031 群馬県前橋市下小出町 1-15-3
発行機関	前橋市教育委員会
発行機関所在地	〒371-0853 群馬県前橋市鶴枝町 3 丁目11番4
発行年月日	2022年3月25日

フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード		位置		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
西部第一落合遺跡群 (3)	群馬県前橋市元鶴枝町 754、755、756、757、 758、766	102016	3A268	36°22'59"	139°02'13"	20210907 ～ 20211028	1544m ²	前橋都市計画事業 西部第一落合 土地区画整理事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
西部第一落合遺跡群 (3)	その他	平安時代	溝 採掘坑 井戸 土坑 ピット	土器 埴輪 灰釉陶器	・10世紀頃の区画溝と自然流路 ・鶴枝層の採掘坑
		中世	掘立柱建物跡 溝 土坑 ピット	青磁 天目茶碗 内耳土器 かわらけ 茶臼	・266基のピット群
		近世以降	道路跡遺構 品跡		

西部第一落合遺跡群 (3)

前橋都市計画事業西部第一落合土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2022年3月11日 発行

2022年3月25日 発行

発行 前橋市教育委員会事務局文化財保護課

〒371-0853 群馬県前橋市鶴枝町 3 丁目11番4

TEL 027-280-6511

技研コンサル株式会社

朝日印刷工業株式会社